



## ユーザーズマニュアル

製品名：ギガビット対応 PoE 機能付レイヤー2 マネージドスイッチ  
型番：ZMS-G2012P

2022年3月1日初版

#### 廃棄方法について

本装置を廃棄するときは、地方自治体の条例に従って処理してください。  
詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

#### リバースエンジニアリングに関する禁止事項

本装置のソフトウェアに対して、逆アセンブル、逆コンパイルなどのリバースエンジニアリングは禁止されています。

#### 輸出に関する注意事項

日本国外へ持ち出す際には輸出該非判定書が必要となる場合がありますので、当社へお問い合わせください。

本装置（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規制等には準拠しておりません。本装置を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポート等を行っておりません。

## ご使用上の注意

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や、財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を示しています。

使用している表示と図記号の意味は次の通りです。

 <b>警告</b>	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 <b>注意</b>	<p>この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。</p>

	<p>誤った取扱いをすると、発火の可能性が想定されることを示しています。</p>
	<p>誤った取扱いをすると、感電の可能性が想定されることを示しています。</p>
	<p>誤った取扱いをすると、けがを負う可能性が想定されることを示しています。</p>
	<p>誤った取扱いをすると、目を傷める可能性が想定されることを示しています。</p>
	<p>安全のため、水場での機器の使用を禁止することを示しています。</p>
	<p>安全のため、機器の分解を禁止することを示しています。</p>
	<p>安全のため、電源プラグを必ずA Cコンセントから抜くように指示するものです。</p>

<電源に関するご注意>

 <b>警告</b>	
 	<p>本装置をAC100±10V（50／60Hz）の電源以外では絶対に使用しないでください。</p> <p>異なる電圧で使用すると、火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから、ACコンセントに差し込んでください。</p> <p>また、半年から一年に一回は電源プラグを点検してください。点検に関してはお問い合わせの販売店または担当のサービスセンターにご相談ください。</p> <p>ほこりにより、火災、感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>電源アダプタは、ACコンセントに確実に差し込んでください。</p> <p>電源アダプタの金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。</p>
	<p>濡れた手で電源プラグをACコンセントに抜き差ししないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>電源アダプタの接続は、テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用したタコ足配線にしないでください。</p> <p>電源アダプタが過熱し、火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源アダプタを加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。</p> <p>電源アダプタの破損による火災、感電の原因となります。</p>

 	<p>電源アダプタ本体及びケーブルの上にものを載せないでください。</p> <p>電源アダプタの破損による火災、感電の原因となります。</p>
 	<p>電源アダプタを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。</p> <p>電源アダプタの損傷による火災、感電の原因となることがあります。</p>
 	<p>本装置に添付している電源アダプタは、本装置専用です。</p> <p>本装置への電源供給は、本装置に添付している電源アダプタを使用してください。</p> <p>また、本装置に添付している電源アダプタを他装置の電源供給に使用しないでください。</p> <p>火災、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>電源アダプタをACコンセントに接続してあるときは、濡れた手で本装置に触れないでください。</p> <p>感電の原因となります。</p>

## 注意

	<p>本装置をご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをACコンセントから抜いてください。</p>
---	--

<保管および使用環境に関するご注意>

 <b>警告</b>	
 	<p>本装置の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など、液体の入った容器を置かないでください。</p> <p>液体などが本装置に入った場合、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>本装置をふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（80%を超える場所）では使用しないでください。</p> <p>火災、感電の原因となります。</p>

 <b>注意</b>	
 	<p>本装置や電源アダプタを火気やストーブなどの熱器具に近づけないでください。</p> <p>電源アダプタの被覆が溶けて、火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
 	<p>本装置を油飛びや湯気があたるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>

	<p>本装置や電源アダプタを直射日光の当たるところや、温度の高いところ(45°Cを超える場所)に置かないでください。</p> <p>本装置内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置の側面にある通風孔には物を置かないでください。</p> <p>本装置の側面にある通風孔をふさぐと内部の温度が上がり、火災、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置を不安定な場所(ぐらついた台の上や傾いた所など)に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置を振動、衝撃の多い場所に置かないでください。</p> <p>落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
	<p>本装置を卓上設置の場合は、底面が下になるように設置してください。</p> <p>正しく設置しないと転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。</p>
<p>本装置をラジオやテレビなどのすぐそばで使用すると、ラジオやテレビに雑音が入ることがあります。また、強い磁界を発生する装置が近くにあると、逆に本装置に雑音が入ることがあります。このような場合は離して使用してください。</p>	

<禁止事項>

 <b>警告</b>	
  	<p>本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、危険ですから絶対にしないでください。</p> <p>本装置の内部には電圧の高い部分があり、火災、感電の原因となります。本装置内部の点検、調整、清掃、修理は、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタに依頼してください。</p>
 	<p>本装置の側面にある通風孔など、開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を入れないでください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となることがあります。</p>
  	<p>本装置内部の分解、改造は絶対にしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>
 	<p>本装置に水や液体などを入れる、本装置を濡らすことなどは絶対にしないでください。</p> <p>火災、感電、故障の原因となります。</p>

## 注意

	<p>本装置の上にものを載せたり、本装置に乗ったりしないでください。</p> <p>特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 破損等により、けがの原因となることがあります。</p>
	<p>光インターフェイスをサポートする SFP モジュールを本装置に挿入中は、光コネクタ内部を裸眼、または光学機等を介してのぞかないでください。</p> <p>目に障害が発生するおそれがあります。</p>
	<p>光ケーブルのコネクタ先端部からは光ビームが発生しています。のぞき込まないでください。</p> <p>のぞき込んだ場合、目を傷める危険性があります。万一、のぞき込んだ場合はただちに医師の診察をお受けください。</p>

<異常時およびトラブルに関するご注意>

 <b>警告</b>	
  	<p>万一、本装置を落としたり、破損したりした場合、電源アダプタをACコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタにご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、本装置の内部に水などの液体が入った場合、電源アダプタをACコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタにご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>万一、異物が本装置の内部に入った場合、電源アダプタをACコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタにご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。</p>
  	<p>電源アダプタが傷んだときは、すぐに電源プラグをACコンセントから抜いて、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタに修理を依頼してください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>

  	<p>万一、本装置や電源アダプタから煙が出ている、異臭がするなどの異常状態のときは、すぐに電源プラグをACコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、お買い求めの販売店または担当のサービスセンタに修理をご依頼ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。</p>
---	---

 <b>注意</b>	
  	<p>落雷の恐れのあるときは、必ず電源アダプタをACコンセントから抜いて、ご使用をお控えください。</p> <p>落雷時に、火災、感電の原因となることがあります。</p>
	<p>雷が鳴っているときは、電源プラグに触れたり、本装置へのケーブル接続をしたりしないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>

<お手入れに関するご注意>

 <h2 style="margin: 0;">注意</h2>	
	<p>本装置のお手入れをする際は、安全のため、必ず電源アダプタをACコンセントから抜いてください。</p>
<p>ベンジン、シンナーなど（揮発性のもの）や薬品を用いて拭いたりしますと、変形や変色の原因となることがあります。また、殺虫剤などをかけた場合も変形や変色の原因になることがありますので、注意してください。</p>	

### 構成品

ZMS-G2012P の構成品を以下に示します。構成品一覧に基づいて、品物の不足・破損がないかを確認してください。万一、品物の不足・破損がある場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

#### ZMS-G2012P 構成品

構成品名	数量	備考
ZMS-G2012P 本体	1	
専用電源アダプタ（本体）	1	添付品
専用電源アダプタ用電源ケーブル（3極）	1	
コンソールケーブル	1	
ゴム足	4	
ZMS-G2012P 安全にお使いいただくために	1	

# 目次

第 1 章 各部の名称と機能 .....	1
ZMS-G2012P 前面 .....	1
ZMS-G2012 背面.....	2
第 2 章 Web GUI による各種設定 .....	3
2-1 ログイン .....	3
2-2 Smart Wizard 設定 .....	5
2-2-1 IP アドレス設定.....	5
2-2-2 パスワード設定.....	6
2-2-3 SNMP 設定 .....	6
2-3 Web GUI メイン画面の構成.....	7
2-4 System (システム機能の設定) .....	8
2-4-1 System Information (システム情報) .....	8
2-4-2 IPv4 Interface (IPV4 インターフェイス) .....	8
2-4-3 IPv6 Interface (IPV6 インターフェイス) .....	9
2-4-4 Port Settings (ポート構成) .....	10
2-4-5 Jumbo Frame (ジャンボフレーム) .....	11
2-4-6 PoE System (PoE システム) .....	11
2-4-7 PoE Status (PoE ステータス) .....	12
2-4-8 PoE Configuration (PoE 構成) .....	12
2-4-9 PD Alive (PD アライブ) .....	13
2-4-10 System Log Settings (システムログ設定) .....	14
2-4-11 System Log Server Settings (システムログサーバ設定) .....	14
2-4-12 System Log (システムログ) .....	15
2-4-13 Clock Settings (時刻設定) .....	15
2-4-14 Time Zone Settings (タイムゾーン設定).....	16
2-4-15 SNTP Settings (SNTP 設定) .....	18
2-4-16 Time Profile (タイムプロファイル) .....	18
2-5 Management (マネジメント機能の設定) .....	19
2-5-1 User Accounts Settings (ユーザーアカウント設定) .....	19
2-5-2 Password Encryption Settings (パスワード暗号化設定).....	19
2-5-3 SNMP Global Settings (SNMP グローバル設定) .....	20
2-5-4 SNMP View Table Settings (SNMP ビューテーブル設定) .....	21
2-5-5 SNMP Community Table Settings (SNMP コミュニティテーブル設定) .....	21

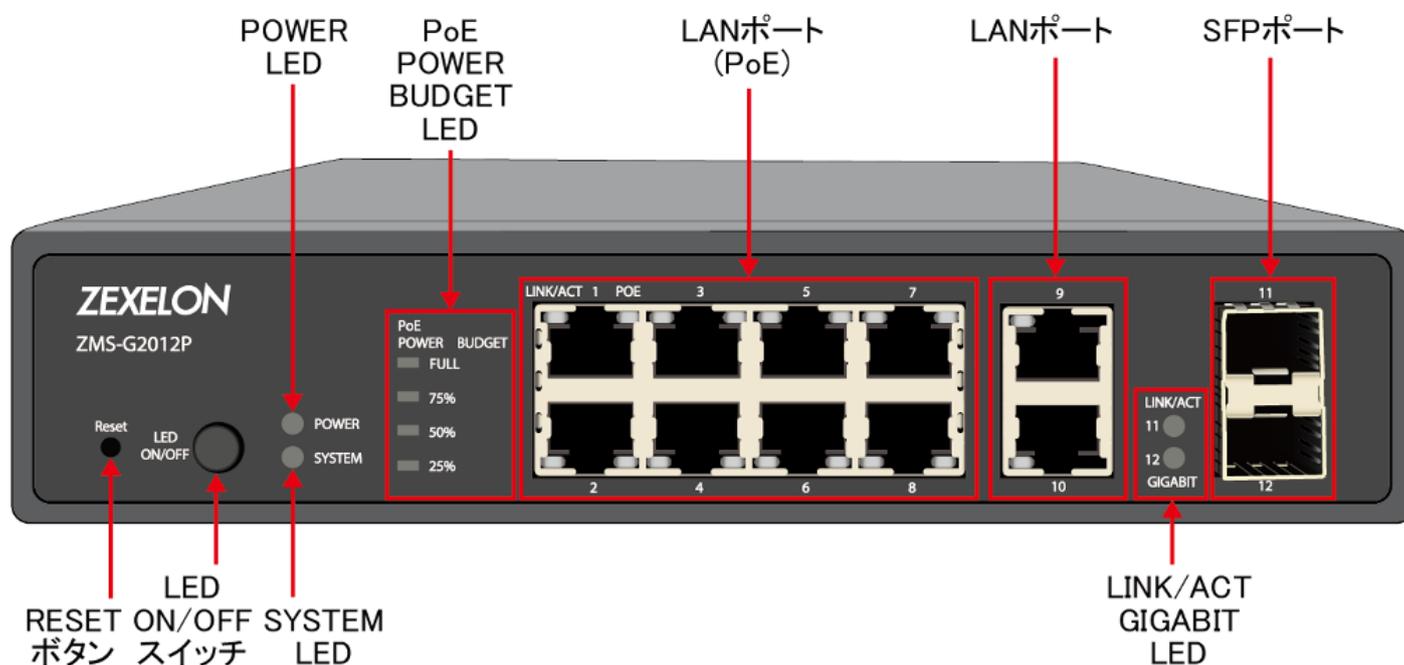
2-5-6 SNMP Group Table Settings (SNMP グループテーブル設定)	22
2-5-7 SNMP Engine ID Local Settings (SNMP エンジン ID ローカル設定)	22
2-5-8 SNMP User Table Settings (SNMP ユーザーテーブル設定)	23
2-5-9 SNMP Host Table Settings (SNMP ホストテーブル設定)	24
2-5-10 RMON Global Settings (RMON 設定)	25
2-5-11 RMON Statistics Settings (RMON 統計情報設定)	25
2-5-12 RMON History Settings (RMON 履歴設定)	25
2-5-13 RMON Alarm Settings (RMON アラーム設定)	26
2-5-14 RMON Event Settings (RMON イベント設定)	27
2-5-15 Telnet Settings (Telnet 設定)	27
2-5-16 HTTP/HTTPS (HTTP/HTTPS 設定)	27
2-6 L2Features (レイヤー2 機能の設定)	28
2-6-1 Unicast Static FDB (ユニキャストスタティック FDB)	28
2-6-2 Multicast Static FDB (マルチキャストスタティック FDB)	28
2-6-3 MAC Address Table Settings (MAC アドレステーブル設定)	29
2-6-4 MAC Address Table (MAC アドレステーブル)	29
2-6-5 VLAN Configuration Wizard (VLAN 設定)	30
2-6-6 802.1Q VLAN (VLAN 管理)	31
2-6-7 Management VLAN Settings (マネジメント VLAN 設定)	31
2-6-8 GVRP Global (GVRP グローバル)	32
2-6-9 GVRP Port (GVRP ポート)	33
2-6-10 GVRP Advertise VLAN (GVRP アドバタイズ VLAN)	33
2-6-11 GVRP Forbidden VLAN (GVRP フォービドゥン VLAN)	34
2-6-12 Asymmetric VLAN (アシメトリック VLAN)	34
2-6-13 VLAN Interface (VLAN インターフェイス)	35
2-6-13-1 VLAN Interface Information (VLAN インターフェイス情報)	35
2-6-13-2 Configure VLAN Interface (VLAN インターフェイス設定)	36
2-6-14 Auto Surveillance Properties (自動サーベイランスプロパティ)	37
2-6-15 MAC Settings and Surveillance Device (MAC 設定とサーベイランスデバイス)	38
2-6-16 ONVIF IP-Camera Information (オンビフ IP カメラ情報)	38
2-6-17 ONVIF NVR Information (オンビフ NVR 情報)	39
2-6-18 Voice VLAN Global (音声 VLAN グローバル)	39
2-6-19 Voice VLAN Port (音声 VLAN ポート)	40
2-6-20 Voice VLAN OUI (音声 VLAN OUI)	40
2-6-21 Voice VLAN Device (音声 VLAN デバイス)	41
2-6-22 Spanning Tree Global Settings (スパニングツリーグローバル設定)	41
2-6-23 STP Port Settings (STP ポート設定)	42
2-6-24 MST Configuration Identification (MST インスタンス設定)	42
2-6-25 STP Instance (STP インスタンス)	43
2-6-26 MSTP Port Information (MSTP ポート情報)	43

2-6-27 ERPS (ERPS 設定) .....	43
2-6-27-1 Edit Ethernet Ring (イーサネットリング編集) .....	44
2-6-27-2 ERPS Status (ERPS ステータス) .....	44
2-6-27-3 Edit Ethernet Instance (イーサネットインスタンス編集) .....	45
2-6-28 ERPS Profile (ERPS プロファイル) .....	46
2-6-28-1 Edit Ethernet Profile (イーサネットプロファイル編集) .....	46
2-6-29 Loopback Detection (ループバック検知機能) .....	47
2-6-30 Link Aggregation (リンクアグリゲーション) .....	48
2-6-31 IGMP Snooping Settings (IGMP スヌーピング設定) .....	49
2-6-32 IGMP Snooping Groups Settings (IGMP Snooping グループ設定) .....	50
2-6-33 MLD Snooping Settings (MLD Snooping 設定) .....	51
2-6-34 MLD Snooping Groups Settings (MLD Snooping グループ設定) .....	52
2-6-35 Multicast Filtering (マルチキャストフィルタリング) .....	53
2-6-36 LLDP Global Settings (LLDP グローバル設定) .....	53
2-6-37 LLDP Neighbor Port Information (LLDP 受信ポート情報) .....	53
QOS (QOS 機能の設定) .....	54
2-7-1 802.1p Priority Settings (802.1p 優先制御) .....	54
2-7-2 Port Rate Limiting (ポート転送速度制限) .....	55
2-7-3 Port Trust State (ポートの信頼性) .....	55
2-7-4 DSCP CoS Mapping (DSCP CoS マッピング) .....	56
Security (セキュリティ機能の設定) .....	57
2-8-1 Port Security Port Settings (ポートセキュリティ設定) .....	57
2-8-2 Port Security Address Entries (ポートセキュリティアドレスエントリー) .....	58
2-8-3 802.1X Global Settings (802.1X グローバル設定) .....	58
2-8-4 802.1X Port Settings (802.1X ポート設定) .....	59
2-8-5 802.1X Local-user (802.1X ローカルユーザー) .....	59
2-8-6 Authentication Sessions Information (再認証セッション情報) .....	60
2-8-7 Authenticator Statistics (オーセンティケータ統計情報) .....	60
2-8-8 RADIUS Global Settings (RADIUS グローバル設定) .....	61
2-8-9 RADIUS Server Settings (RADIUS サーバ設定) .....	61
2-8-10 RADIUS Statistic Settings (RADIUS 統計情報設定) .....	61
2-8-11 Web Authentication (Web 認証) .....	62
2-8-12 WAC Port Settings (WAC ポート設定) .....	62
2-8-13 WAC Customize Page (WAC カスタマイズページ) .....	63
2-8-14 Traffic Segmentation Settings (トラフィックセグメンテーション設定) .....	63
2-8-15 Storm Control Settings (ストームコントロール設定) .....	64
2-8-16 Dos Attack Prevention Settings (Dos 攻撃防止設定) .....	64
2-8-17 SSH Global Settings (SSH グローバル設定) .....	65
2-8-18 SSL Global Settings (SSL グローバル設定) .....	65

OAM (OAM 機能の設定) .....	66
2-9-1 Cable Diagnostics (ケーブル診断機能).....	66
2-9-2 DDM Settings (DDM 設定).....	67
2-9-3 DDM Temperature Threshold Settings (DDM 温度しきい値設定) .....	68
2-9-4 DDM Voltage Threshold Settings (DDM 電圧しきい値設定).....	68
2-9-5 DDM Bias Current Threshold Settings (DDM 電流しきい値設定).....	69
2-9-6 DDM TX Power Threshold Settings (DDM 送信電力しきい値設定).....	69
2-9-7 DDM RX Power Threshold Settings (DDM 受信電力しきい値設定).....	70
2-9-8 DDM Status Table (DDM ステータステーブル) .....	70
Monitoring (モニタリング機能の設定) .....	71
2-10-1 Port Counters (ポートカウンタ).....	71
2-10-2 Mirror Settings (ミラーリング設定) .....	72
Green (省電力テクノロジー) .....	73
2-11-1 Power Saving (節電設定).....	73
2-11-2 EEE (省電力イーサネット).....	74
Tools (Tools メニュー) .....	75
2-12-1 Firmware Information (ファームウェア情報).....	75
2-12-2 Firmware Upgrade from HTTP (HTTP を使用したファームウェア更新).....	75
2-12-3 Firmware Upgrade from TFTP (TFTP サーバを使用したファームウェア更新) .....	75
2-12-4 Firmware Backup to HTTP (HTTP を使用したファームウェアバックアップ).....	76
2-12-5 Firmware Backup to TFTP (TFTP サーバを使用したファームウェアバックアップ) .....	76
2-12-6 Configuration Restore from HTTP (HTTP を使用した設定読み込み) .....	77
2-12-7 Configuration Restore from TFTP (TFTP サーバを使用した設定読み込み) .....	77
2-12-8 Configuration Backup to HTTP (HTTP を使用した設定のバックアップ) .....	78
2-12-9 Configuration Backup to TFTP (TFTP サーバを使用した設定のバックアップ) .....	78
2-12-10 Log Backup to HTTP (HTTP を使用したログのバックアップ) .....	79
2-12-11 Log Backup to TFTP (TFTP サーバを使用したログのバックアップ) .....	79
2-12-12 Ping (Ping テスト) .....	79
2-12-13 Reset (初期化).....	80
2-12-14 Reboot System (再起動) .....	80
Save (Save メニュー) .....	81
2-13-1 Save configuration (設定の保存).....	81
製品仕様.....	812

# 第1章各部の名称と機能

## ZMS-G2012P 前面



「POWER LED」…電源投入時に点灯します。

「SYSTEM LED」…システム起動時に点灯します。

「PoE POWER BUDGET LED」…PoE電力残量を表示します。

「LANポート (POE)」…LANケーブルによるPoE給電およびデータ送受信行えます。

「LANポート」…LANケーブルによるデータ送受信行えます。

「SFPポート」…光ファイバーケーブルによるデータ送受信行えます。※別途SFPモジュールが必要となります。

「LINK/ACT GIGABIT LED」…「SFP」端子のリンク状態を表示します。

「RESETボタン」…5秒以上押すとすべての設定が工場出荷時の状態にリセットされます。

「LED ON/OFFスイッチ」…POWER以外のLEDのON/OFF設定が行えます。

※LED表示の詳細についてはP83の製品仕様をご参照ください。

## ZMS-G2012 背面



CONSOLEポート

「CONSOLEポート」…CLIによる設定時等にコンソールケーブルを接続します。

「ACアダプタ接続端子」…付属のACアダプタと接続します。

ACアダプター接続端子

## 第2章 Web GUI による各種設定

本製品の設定は、GUIおよびCLIを使用して行うことができます。

本章ではGUIを使用した各種設定について説明します。

設定にあたり、設定用PCと本製品をLANケーブルで直接または他の通信機器を経由して接続してください。

※設定を保存する際はSaveを行ってください。

### 2-1 ログイン

1. コンピュータでブラウザを起動します。

2. スイッチのIPアドレスを入力します。

 192.168.0.1

※工場出荷時設定では、IPアドレス「192.168.0.1」、サブネットマスク「255.255.255.0」が設定されています。ログインするには、設定用PCのIPアドレスを本スイッチに合わせるか、本スイッチを設定用PCのIPアドレスに合わせてください。

**【例】スイッチのIPアドレスが192.168.0.1の場合：**

以下のとおりに設定します。

設定用PCのアドレス：192.168.0.z (zは1-254の間の整数)

サブネットマスク：255.255.255.0

3. ユーザー認証画面で、ユーザーネーム・パスワードを入力し、「Login」をクリックします。



※ユーザーネーム・パスワードの初期値は「admin」です。

4.スマートウィザード画面が表示されます。



ウィザード画面では、IP アドレス・パスワード・SNMP の設定を行うことができます。  
 ウィザードを使用して設定する場合は、P5の「2-2 Smart Wizard設定」を参照してください。

5. ウィザードを使用しない場合は、「Exit」をクリックします。

※本画面を再表示しない場合は「Ignore the wizard next time」にチェックを入れてください。

6.以下のWeb GUIメイン画面が表示されます。



## 2-2 Smart Wizard 設定

「Smart Wizard」で基本的なシステム設定(IPアドレス、パスワード、SNMP)を行います。



1. 「Next」をクリックします。

※本画面を再表示しない場合は「Ignore the wizard next time」にチェックを入れ「Next」をクリックします。

### 2-2-1 IP アドレス設定



1. 「Static」「DHCP」のいずれかをクリックします。

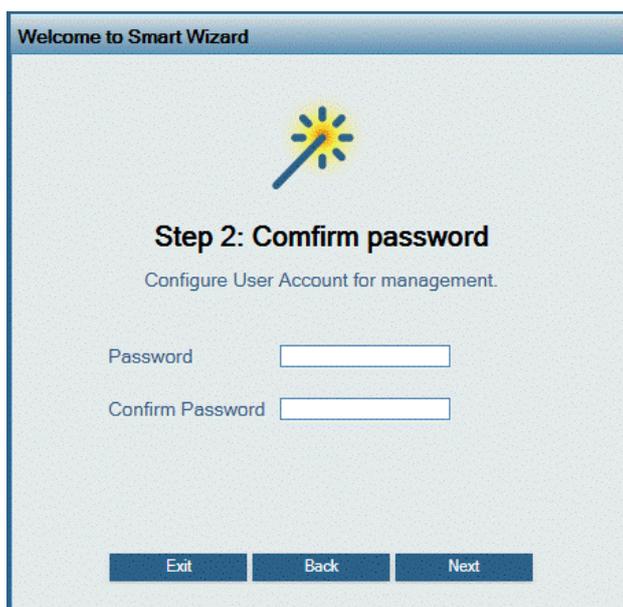
「Static」：固定設定

「DHCP」：DHCPによる自動取得

2. 「Static」を選択した場合は、「IP Address」「Netmask」「Gateway」を入力または選択します。

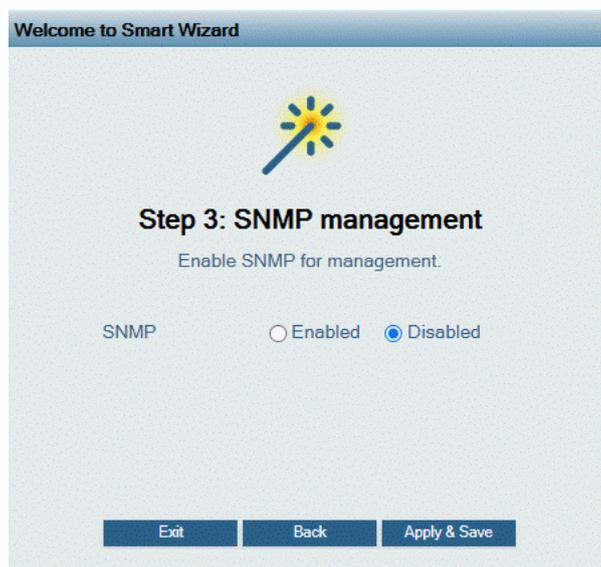
3. 「Next」をクリックします。

## 2-2-2 パスワード設定



1. 「Password」欄に新しいパスワードを入力します。
2. 「Confirm Password」欄に確認のため再度同じパスワードを入力します。
3. 「Next」をクリックします。

## 2-2-3 SNMP 設定

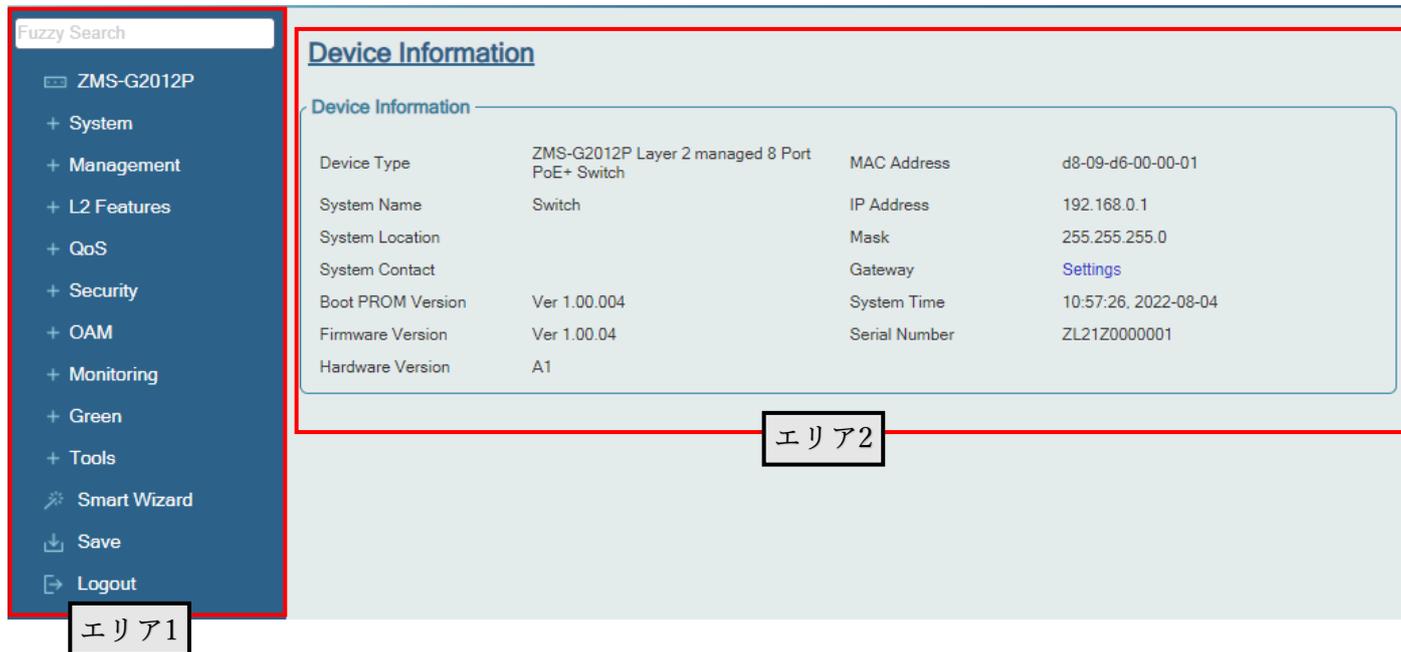


1. 「Enabled」または「Disabled」を選択します。
2. 「Apply & Save」をクリックします。※Web GUIメイン画面が表示されます。

※本画面の「Apply & Save」で設定の保存はされません。

## 2-3 Web GUI メイン画面の構成

Web GUIのメイン画面は2つのエリアで構成されています。



**Area 1**

**Area 2**

Device Information			
Device Type	ZMS-G2012P Layer 2 managed 8 Port PoE+ Switch	MAC Address	d8-09-d6-00-00-01
System Name	Switch	IP Address	192.168.0.1
System Location		Mask	255.255.255.0
System Contact		Gateway	<a href="#">Settings</a>
Boot PROM Version	Ver 1.00.004	System Time	10:57:26, 2022-08-04
Firmware Version	Ver 1.00.04	Serial Number	ZL21Z0000001
Hardware Version	A1		

**エリア1 (機能一覧)** : 表示するメニューを選択します。メニューアイコンを開いて、サブメニューを表示します。

**エリア2 Device Information (デバイス情報)** : IP アドレスなど、スイッチ設定情報が表示されます。

## 2-4 System (システム機能の設定)

### 2-4-1 System Information (システム情報)

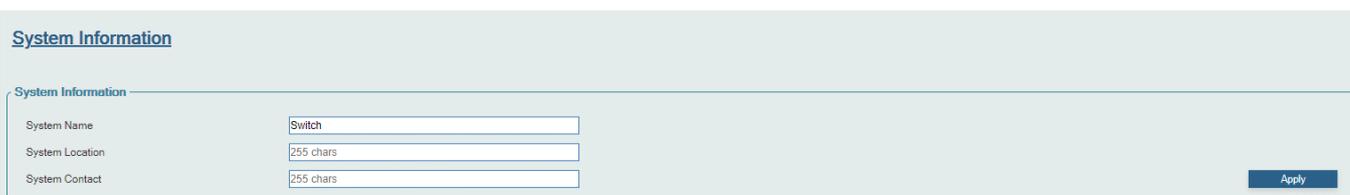
「System」 → 「System Information Settings」 → 「System Information」 の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「System Name」 : システム名を入力します。

「System Location」 : 設置場所を入力します。

「System Contact」 : 担当者名を入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



### 2-4-2 IPv4 Interface (IPv4 インターフェイス)

「System」 → 「System Information Settings」 → 「IPv4 Interface」 の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Get IP From」 : 「Static」 または 「DHCP」 を選択します。

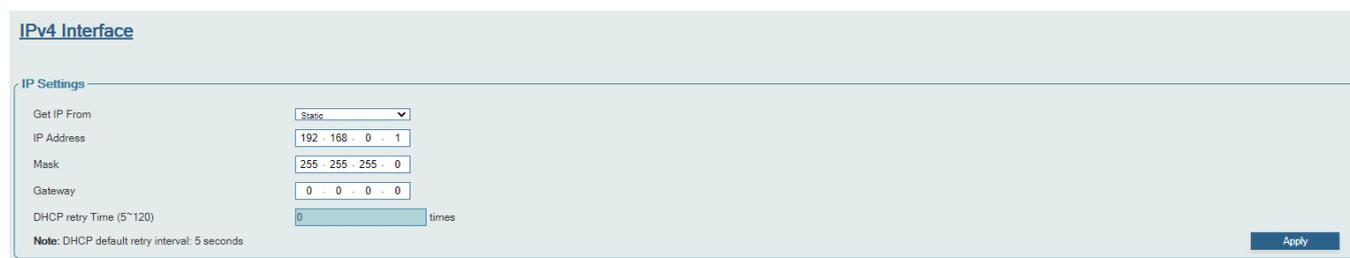
「IP Address」 : IPアドレスを入力します。※ 「Static」 選択時

「Mask」 : サブネットマスクを入力します。※ 「Static」 選択時

「Gateway」 : ゲートウェイを入力します。※ 「Static」 選択時

「DHCP retry Time(5~120)」 : IPアドレスのリース時間を入力します。※ 「DHCP」 選択時

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



### 2-4-3 IPv6 Interface (IPv6 インターフェイス)

「System」 → 「System Information Settings」 → 「IPv6 Interface」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「IPv6 State」 : 「Enabled」 または 「Disabled」 を選択します。

「Static IPv6 Address」 : IPアドレスを入力します。※ 「Enabled」 選択時

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



**IPv6 Interface**

IPv6 State: Disabled

Static IPv6 Address: 2013::1 /64

Apply

## 2-4-4 Port Settings (ポート構成)

「System」 → 「Port Configuration」 → 「Port Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「MDIX」：MDIX機能の動作を選択します。

- 選択肢：「Auto」「Normal」「Cross」

「Flow control」：フローコントロールの動作を選択します。

- 選択肢：「On」「Off」

「Duplex」：通信方式を選択します。

- 選択肢：「Auto」「Half」「Full」

「Speed」：ポートスピードを選択します。

- 選択肢：「Auto」「10M」「100M」「1000M」

「Description」：ポート説明を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**Port Settings**

Port Settings

From Port:  To Port:  State:  MDIX:  Flow Control:

Duplex:  Speed:  Description:

Port	Link Status	State	MDIX	Flow Control	Duplex	Speed	Description
eth1/0/1	1000M-Full	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/2	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/3	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/4	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/5	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/6	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/7	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/8	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/9	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/10	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/11	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	
eth1/0/12	Down	Enabled	Auto	Disabled	Auto	Auto	

## 2-4-5 Jumbo Frame (ジャンボフレーム)

「System」 → 「Port Configuration」 → 「Jumbo Frame」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「Maximum Receive Frame Size (1518-9600)」：フレームサイズを入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

**Jumbo Frame**

Jumbo Frame

From Port:  To Port:  Maximum Receive Frame Size (1518-9600):  bytes

Port	Maximum Receive Frame Size (bytes)
eth1/0/1	1518
eth1/0/2	1518
eth1/0/3	1518
eth1/0/4	1518
eth1/0/5	1518
eth1/0/6	1518
eth1/0/7	1518
eth1/0/8	1518
eth1/0/9	1518
eth1/0/10	1518
eth1/0/11	1518
eth1/0/12	1518

## 2-4-6 PoE System (PoE システム)

「System」 → 「PoE」 → 「PoE System」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Usage Threshold (1-99)」：PoE電源の電力使用量監視しきい値を入力します。

「Trap State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

**PoE System**

PoE System

Usage Threshold (1-99):  % Trap State:

Delivered (w)	Power Budget (w)	Usage Threshold (%)	Trap State
0.0	120	99	Disabled

## 2-4-7 PoE Status (PoE ステータス)

「System」 → 「PoE」 → 「PoE Status」 の順にクリックします。

PoEステータスが表示されます。

**PoE Status**

PoE Status

Port	State	Class	Max (W)	Used (W)
eth1/0/1	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/2	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/3	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/4	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/5	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/6	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/7	Searching	Class-0	0.0	0.0
eth1/0/8	Searching	Class-0	0.0	0.0

## 2-4-8 PoE Configuration (PoE 構成)

「System」 → 「PoE」 → 「PoE Configuration」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Priority」:指定ポートの電力供給の優先度を選択します。

- 選択肢: 「Critical」 「High」 「Low」

「Mode」:PoEのモードを選択します。

- 選択肢: 「Auto」 「Never」

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

**PoE Configuration**

PoE Configuration

From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1 Priority: Low Mode: Auto Time Profile: None Apply

Port	Admin	Priority	Time Profile
eth1/0/1	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/2	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/3	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/4	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/5	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/6	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/7	auto	Low	Delete Time Profile
eth1/0/8	auto	Low	Delete Time Profile

## 2-4-9 PD Alive (PD アライブ)

「System」 → 「PoE」 → 「PD Alive」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### PD Alive Configuration

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「PD Alive State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「PD IP Address」：PDのIPアドレスを入力します。

「Poll interval (10-300)」：システムからPDに「Ping」を送信する間隔を入力します。

「Retry Count (0-5)」：PDに無反応の場合に再度「Ping」を送信する回数を入力します。

「Waiting Time(30-300)」：リセット後にシステムからPDに「Ping」を送信するまでの待機時間を入力します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Reset」「Never」「Both」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### PD Alive

**PD Alive Configuration**

From Port

To Port

PD Alive State

PD IP Address

Poll Interval (10-300)  
 sec

Retry Count (0-5)

Waiting Time (30-300)  
 sec

Action

Port	PD Alive State	PD IP Address	Poll Interval	Retry Count	Waiting Time	Action
eth1/0/1	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/2	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/3	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/4	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/5	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/6	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/7	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both
eth1/0/8	Disabled	0.0.0.0	30	2	90	Both

## 2-4-10 System Log Settings (システムログ設定)

「System」 → 「System Log」 → 「System Log Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### Global State

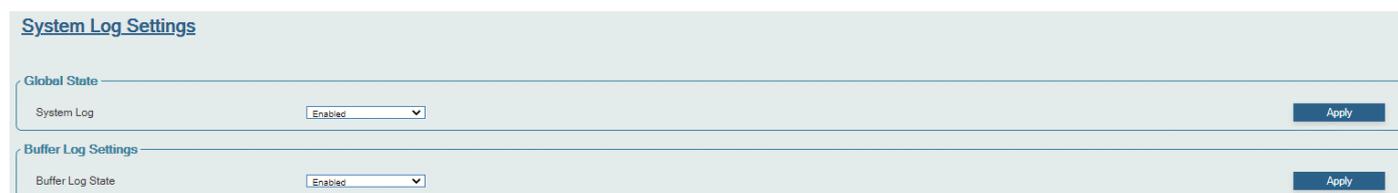
「System Log」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### Buffer Log Settings

「Buffer Log State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'System Log Settings' configuration page. It is divided into two sections: 'Global State' and 'Buffer Log Settings'. In the 'Global State' section, the 'System Log' dropdown menu is set to 'Enabled', and there is an 'Apply' button to the right. In the 'Buffer Log Settings' section, the 'Buffer Log State' dropdown menu is also set to 'Enabled', with another 'Apply' button to its right.

## 2-4-11 System Log Server Settings (システムログサーバ設定)

「System」 → 「System Log」 → 「System Log Server Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### Log Server

「Host IPv4 Address」: ログサーバのIPv4アドレスを入力します。

「Facility」: ログの種類を選択します。

「UDP Port (514, 1024-65535)」: ログが送信されるUDPポートを入力します。

「Severity」: ログの重要度を選択します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'System Log Server Settings' configuration page. It features a 'Log Server' section with four input fields: 'Host IPv4 Address' (empty), 'Facility' (dropdown menu set to '18'), 'UDP Port (514, 1024-65535)' (input field containing '514'), and 'Severity' (dropdown menu set to '3(Errors)'). An 'Apply' button is located to the right of these fields. Below the input fields is a table summarizing the current settings.

Server IP Address	Severity	Facility	UDP Port
0.0.0.0	Informational	23	514

## 2-4-12 System Log (システムログ)

「System」 → 「System Log」 → 「System Log」 の順にクリックします。

システムログが表示されます。

※ 「Clear Log」 をクリックするとシステムログが消去されます。

System Log Clear Log

Total Entries: 100

Index	Time	Level	Log Description
174	01:08:52, 2021-10-14	INFO(6)	Successful login thr...
173	01:07:54, 2021-10-14	INFO(6)	Web session timed ou...
172	00:59:16, 2021-10-14	INFO(6)	Successful login thr...
171	23:13:39, 2021-10-13	INFO(6)	Web session timed ou...
170	23:07:42, 2021-10-13	INFO(6)	Successful login thr...
169	20:03:54, 2021-10-12	INFO(6)	Web session timed ou...
168	19:58:49, 2021-10-12	INFO(6)	Successful login thr...
167	19:58:24, 2021-10-12	INFO(6)	Web session timed ou...
166	19:51:38, 2021-10-12	INFO(6)	Successful login thr...
165	19:44:59, 2021-10-12	INFO(6)	Web session timed ou...
164	19:41:55, 2021-10-12	INFO(6)	Successful login thr...
163	19:39:30, 2021-10-12	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
162	19:37:50, 2021-10-12	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
161	19:37:50, 2021-10-12	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
160	23:59:20, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
159	23:59:03, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
158	23:58:49, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
157	23:58:49, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
156	23:58:44, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
155	23:58:44, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
154	23:58:41, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
153	23:58:40, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
152	23:58:37, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
151	23:58:35, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...
150	23:58:22, 2021-10-11	INFO(6)	Port Ethernet1/0/1 L...

1/4 < 1 2 3 > >> Go

## 2-4-13 Clock Settings (時刻設定)

「System」 → 「Time」 → 「Clock Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Time (HH:MM:SS)」 : 時刻を入力します。

「Date (DD/MM/YYYY)」 : 日付を入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

Clock Setting

Clock Settings

Time (HH:MM:SS)

Date (DD / MM / YYYY)

Apply

## 2-4-14 Time Zone Settings (タイムゾーン設定)

「System」 → 「Time」 → 「Time Zone Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Summer Time State」:サマータイムの種類を設定します。

• 選択肢: 「Disabled」 「Recurring Setting」 「Date Setting」

「Time Zone」 : GMTからのオフセット時間を選択します。

### Recurring Setting ※Recurring Setting選択時

「From:Week of the Month」:月の第何週からサマータイムが始まるかを選択します。

「From:Day of the Week」:サマータイムが開始する曜日を選択します。

「From: Month」:サマータイムが開始する月を選択します。

「From:Time(HH:MM)」:サマータイムが開始する時間を選択します。

「To:Week of the Month」:月の第何週でサマータイムが終わるかを選択します。

「To:Day of the Week」:サマータイムが終了する曜日を選択します。

「To: Month」:サマータイムが終了する月を選択します。

「To:Time(HH:MM)」:サマータイムが終了する時間を選択します。

「Offset」:サマータイムによる調整時間を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### Date Setting ※Date Setting選択時

「From:Date of the Month」:サマータイムが開始する日付を選択します。

「From: Month」:サマータイムが開始する曜日を選択します。

「From: Year」:サマータイムが開始する年を入力します。

「From:Time(HH:MM)」:サマータイムが開始する時間を選択します。

「To: Date of the Month」:サマータイムが終了する日付を選択します。

「To:Day Month」:サマータイムが終了する月を選択します。

「To: Year」:サマータイムが終了する年を入力します。

「To:Time(HH:MM)」:サマータイムが終了する時間を選択します。

「Offset」:サマータイムによる調整時間を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### Time Zone Settings

Summer Time State

Time Zone

### Recurring Setting

From: Week of the Month

From: Day of the Week

From: Month

From: Time (HH:MM)

To: Week of the Month

To: Day of the Week

To: Month

To: Time (HH:MM)

Offset

### Date Setting

From: Date of the Month

From: Month

From: Year

From: Time (HH:MM)

To: Date of the Month

To: Month

To: Year

To: Time (HH:MM)

Offset

Apply

## 2-4-15 SNTP Settings (SNTP 設定)

「System」 → 「Time」 → 「SNTP Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### SNTP Global Settings

「SNTP State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

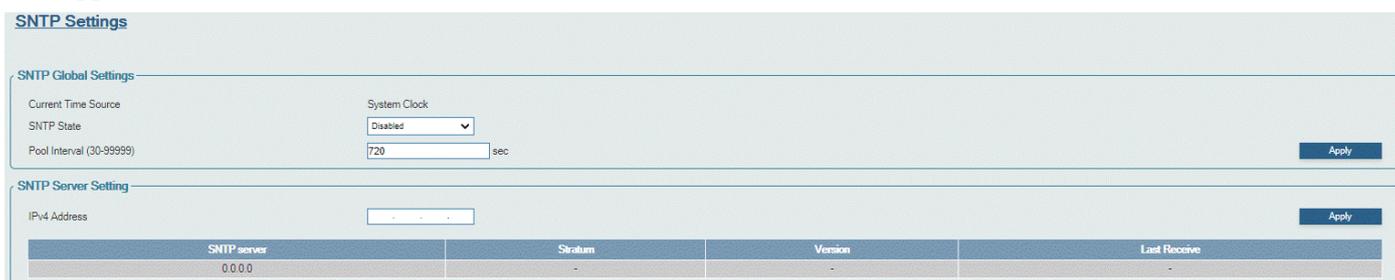
「Pool Interval (30-99999)」：ポーリング間隔を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### SNTP Sever Setting

「IPv4アドレス」：外部時刻サーバのIPv4アドレスを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



SNTP server	Stratum	Version	Last Receive
0.0.0.0	-	-	-

## 2-4-16 Time Profile (タイムプロファイル)

「System」 → 「Time Profile」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Range Name」：プロファイル名を入力します。

「From:Week」：開始する曜日を選択します。

「From: Time(HH:MM)」：開始する時刻を選択します。

「To:Week」：終了する曜日を選択します。

「To: Time(HH:MM)」：終了する時刻を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



Range Name	Start Weekday	Start Time	End Weekday	End Time
Total Entries: 0				

## 2-5 Management (マネジメント機能の設定)

### 2-5-1 User Accounts Settings (ユーザーアカウント設定)

「Management」 → 「User Accounts Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「User Name」:ユーザー名を入力します。

「Privilege」:権限を選択します。

- 選択肢: 「Read-Only」 「Read-Write」

「Password」:パスワードを入力します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'User Accounts Settings' page. At the top, there are input fields for 'User Name' (32 chars), 'Privilege' (a dropdown menu set to 'Read-Only'), and 'Password' (32 chars), followed by an 'Apply' button. Below this is a table with the heading 'Total Entries: 1'. The table has columns for 'User Name', 'Privilege', 'Password', and 'Delete'. One entry is listed with 'User Name' as 'admin', 'Privilege' as 'Read-Write', and 'Password' as '\*\*\*\*\*'.

User Name	Privilege	Password	Delete
admin	Read-Write	*****	

### 2-5-2 Password Encryption Settings (パスワード暗号化設定)

「Management」 → 「Password Encryption」の順にクリックします。

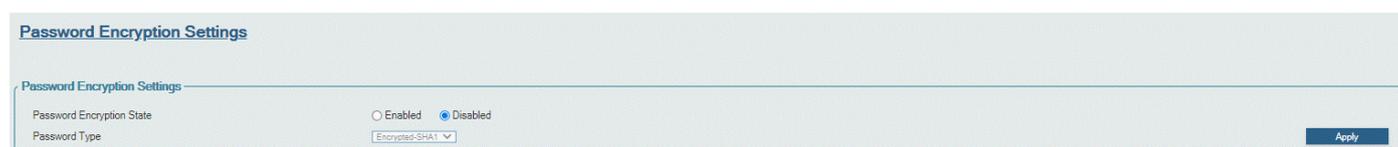
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Password Encryption State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Password Type」: パスワードの種類を選択します。

- 選択肢: 「Encrypted-SHA1」 「Encrypted-MD5」

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'Password Encryption Settings' page. It features two radio buttons for 'Password Encryption State', with 'Disabled' selected. Below that is a dropdown menu for 'Password Type' set to 'Encrypted-SHA1', and an 'Apply' button.

## 2-5-3 SNMP Global Settings (SNMP グローバル設定)

「Management」 → 「SNMP」 → 「SNMP Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### SNMP Global Settings

「SNMP Global State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

### Trap Settings

「Trap Global State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

トラップするイベントにチェックを入れます。

「SNMP Authentication Trap」：認証エラー通知を送信します。

「Device Bootup」：起動通知を送信します。

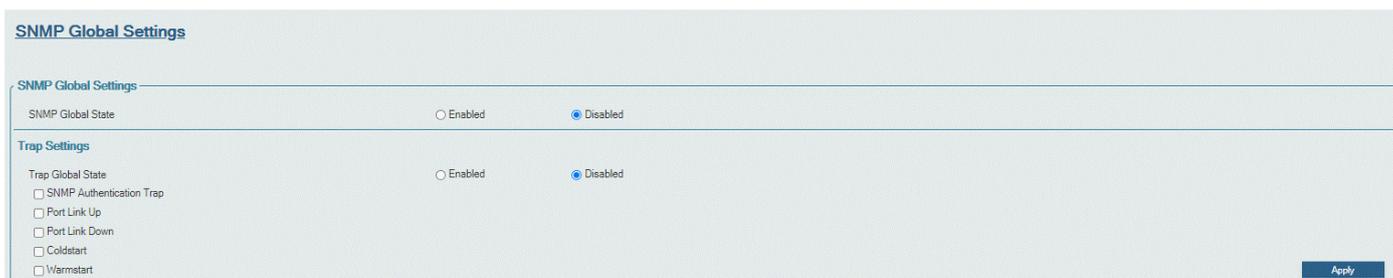
「Port Link Up」：ポートのリンクアップの際に通知を送信します。

「Port Link Down」：ポートのリンクダウンの際に通知を送信します。

「Coldstart」：コールドスタートした際に通知を送信します。

「Warmstart」：ウォームスタートした際に通知を送信します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



**SNMP Global Settings**

SNMP Global Settings

SNMP Global State  Enabled  Disabled

**Trap Settings**

Trap Global State  Enabled  Disabled

SNMP Authentication Trap

Port Link Up

Port Link Down

Coldstart

Warmstart

Apply

## 2-5-4 SNMP View Table Settings (SNMP ビューテーブル設定)

「Management」 → 「SNMP」 → 「SNMP View Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### SNMP View Settings

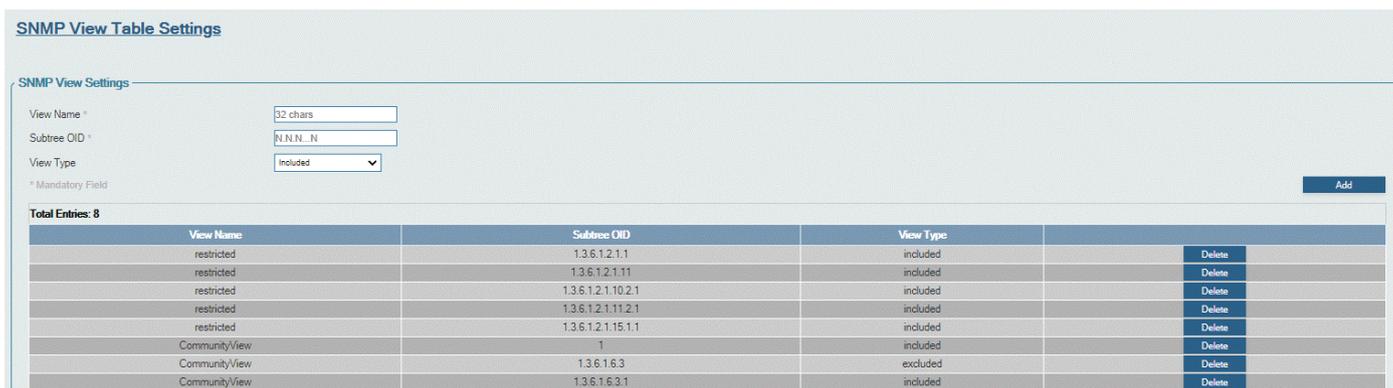
「View Name」：ビュー名を入力します。

「Subtree OID」：ビューのOID サブツリーを入力します。

「View Type」：ビュータイプを選択します。

- 選択肢：「Included」「Excluded」

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。



**SNMP View Table Settings**

SNMP View Settings

View Name \*

Subtree OID \*

View Type

\* Mandatory Field Add

Total Entries: 8

View Name	Subtree OID	View Type	
restricted	1.3.6.1.2.1.1	included	Delete
restricted	1.3.6.1.2.1.11	included	Delete
restricted	1.3.6.1.2.1.10.2.1	included	Delete
restricted	1.3.6.1.2.1.11.2.1	included	Delete
restricted	1.3.6.1.2.1.15.1.1	included	Delete
Community/view	1	included	Delete
Community/view	1.3.6.1.6.3	excluded	Delete
Community/view	1.3.6.1.6.3.1	included	Delete

## 2-5-5 SNMP Community Table Settings (SNMP コミュニティテーブル設定)

「Management」 → 「SNMP」 → 「SNMP Community Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### SNMP Community Settings

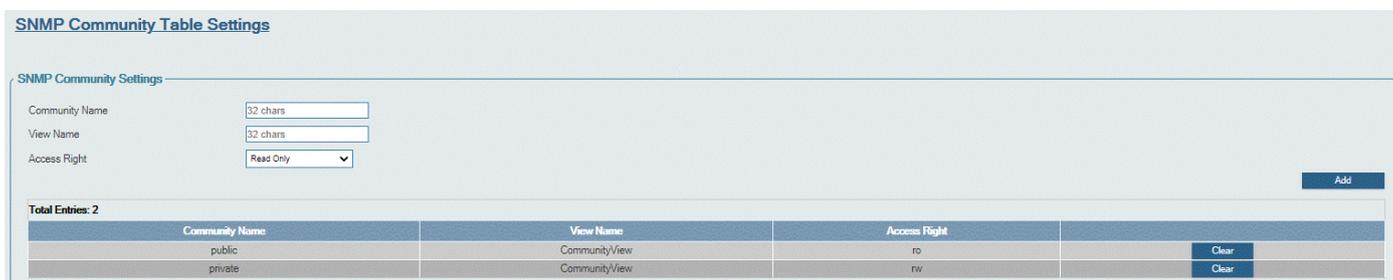
「Community Name」：コミュニティ名を入力します。

「View Name」：ビュー名を入力します。

「Access Right」：レベルの権限を指定します。

- 選択肢：「Read Only」「Read Write」

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。



**SNMP Community Table Settings**

SNMP Community Settings

Community Name

View Name

Access Right

Add

Total Entries: 2

Community Name	View Name	Access Right	
public	Community/view	ro	Clear
private	Community/view	rw	Clear

## 2-5-6 SNMP Group Table Settings (SNMP グループテーブル設定)

「Management」 → 「SNMP」 → 「SNMP Group Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### SNMP Group Settings

「Group Name」:SNMPグループ名を入力します。

「SNMP Version」:SNMPバージョンを選択します。

- 選択枝: 「SNMP v1」 「SNMP v2c」 「SNMP v3」

「Security Level」: セキュリティレベルを選択します。※ 「SNMP v3」 選択時

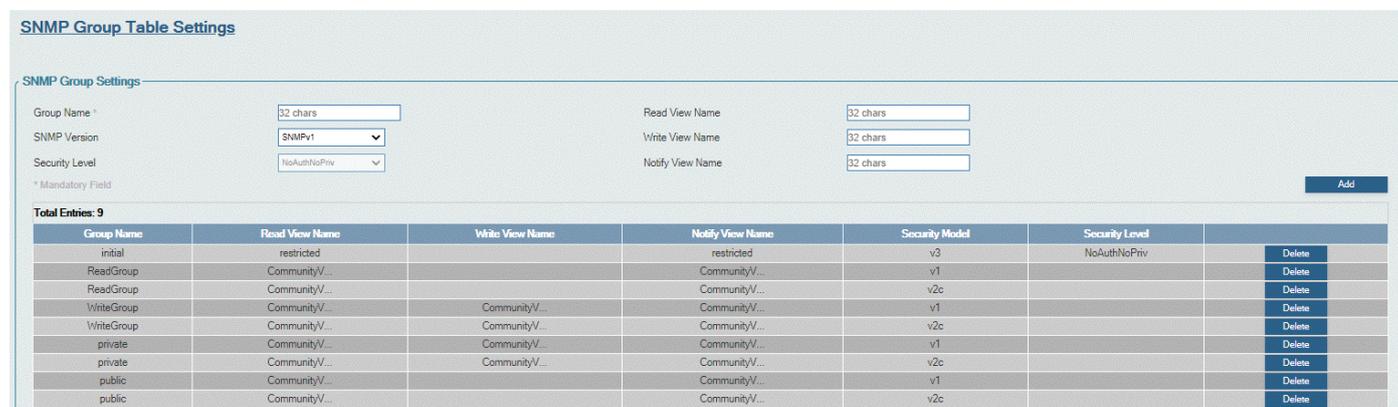
- 選択枝: 「NoAuthNoPriv」 「AuthNoPriv」 「AuthPriv」

「Read View Name」:読み取り権限を与えるユーザーのSNMP グループ名を入力します。

「Write View Name」:書き込み権限を与えるSNMP グループ名を入力します。

「Notify View Name」:トラップメッセージを送信するSNMPグループ名を入力します。

※ 「Add」 をクリックすると設定が追加されます。



**SNMP Group Table Settings**

**SNMP Group Settings**

Group Name \*  Read View Name

SNMP Version  Write View Name

Security Level  Notify View Name

\* Mandatory Field Add

**Total Entries: 9**

Group Name	Read View Name	Write View Name	Notify View Name	Security Model	Security Level	
initial	restricted		restricted	v3	NoAuthNoPriv	Delete
ReadGroup	CommunityV...		CommunityV...	v1		Delete
ReadGroup	CommunityV...		CommunityV...	v2c		Delete
WriteGroup	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v1		Delete
WriteGroup	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v2c		Delete
private	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v1		Delete
private	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v2c		Delete
public	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v1		Delete
public	CommunityV...	CommunityV...	CommunityV...	v2c		Delete

## 2-5-7 SNMP Engine ID Local Settings (SNMP エンジン ID ローカル設定)

「Management」 → 「SNMP」 → 「SNMP Engine ID Local Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Engine ID」: エンジンIDを入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

※ 「Default」 をクリックすると設定が初期値に戻ります。



**SNMP Engine ID Local Settings**

**SNMP Engine ID Local Settings**

Engine ID  Default Apply

Engine ID length is 24, the accepted character is from 0 to F.

## 2-5-8 SNMP User Table Settings (SNMP ユーザーテーブル設定)

「Management」 → 「SNMP」 → 「SNMP User Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### SNMP User Settings

「User Name」:ユーザー名を入力します。

「Group Name」:グループ名を入力します。

「SNMP Version」:SNMPバージョンを選択します。

- 選択肢: 「v1」 「v2c」 「v3」

「Auth-Protocol by Password」: 認証プロトコルを選択します。※ 「v3」 選択時

- 選択肢: 「MD5」 「SHA」

「Password」:パスワードを入力します。

「Priv-Protocol by Password」: プライバシープロトコルを選択します。※ 「v3」 選択時

- 選択肢: 「None」 「DES56」

「Password」:パスワードを入力します。

※ 「Add」 をクリックすると設定が追加されます。

### SNMP User Table Settings

SNMP User Settings

User Name *	<input type="text" value="32 chars"/>			
Group Name *	<input type="text" value="32 chars"/>			
SNMP Version	<input type="text" value="v1"/>			
Auth-Protocol by Password	<input type="text" value="MD5"/>	Password (8-32 chars)	<input type="text"/>	
Priv-Protocol by Password	<input type="text" value="None"/>	Password (8-32 chars)	<input type="text"/>	<input type="button" value="Add"/>

\* Mandatory Field

Total Entries: 1						
User Name	Group Name	Security Model	Authentication Protocol	Privacy Protocol	Engine ID	
initial	initial	V3	None	None	800019cb03	<input type="button" value="Delete"/>

## 2-5-9 SNMP Host Table Settings (SNMP ホストテーブル設定)

「Management」 → 「SNMP」 → 「NMP Host Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### SNMP Host Settings

「Host IPv4 Address」:SNMP管理ホストのIPv4アドレスを入力します。

「SNMP Version」:管理ホストに使用するSNMPバージョンを入力します。

- 選択肢: 「SNMP v1」 「SNMP v2c」 「SNMP v3」

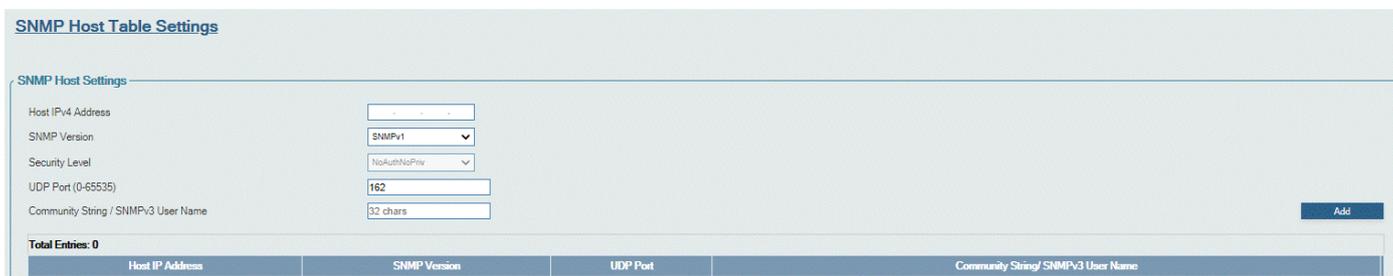
「Security Level」: 「Security Level」: セキュリティレベルを選択します。※ 「SNMP v3」 選択時

- 選択肢: 「NoAuthNoPriv」 「AuthNoPriv」 「AuthPriv」

「UDP Port (0-65535)」: UDPポートを入力します。

「Community String/SNMPv3 User Name」: 管理ホストのコミュニティストリング、またはSNMPv3ユーザー名を入力します。

※ 「Add」 をクリックすると設定が追加されます。



**SNMP Host Table Settings**

SNMP Host Settings

Host IPv4 Address:

SNMP Version:

Security Level:

UDP Port (0-65535):

Community String / SNMPv3 User Name:

Total Entries: 0

Host IP Address	SNMP Version	UDP Port	Community String / SNMPv3 User Name
Total Entries: 0			

## 2-5-10 RMON Global Settings (RMON 設定)

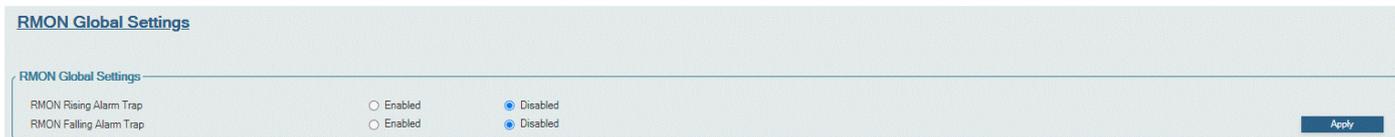
「Management」 → 「RMON」 → 「RMON Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「RMON Rising Alarm Trap」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「RMON Falling Alarm Trap」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'RMON Global Settings' configuration page. It contains two rows of settings, each with radio buttons for 'Enabled' and 'Disabled'. The 'RMON Rising Alarm Trap' and 'RMON Falling Alarm Trap' settings are currently set to 'Disabled'. An 'Apply' button is located at the bottom right of the configuration area.

## 2-5-11 RMON Statistics Settings (RMON 統計情報設定)

「Management」 → 「RMON」 → 「RMON Statistics」の順にクリックします。

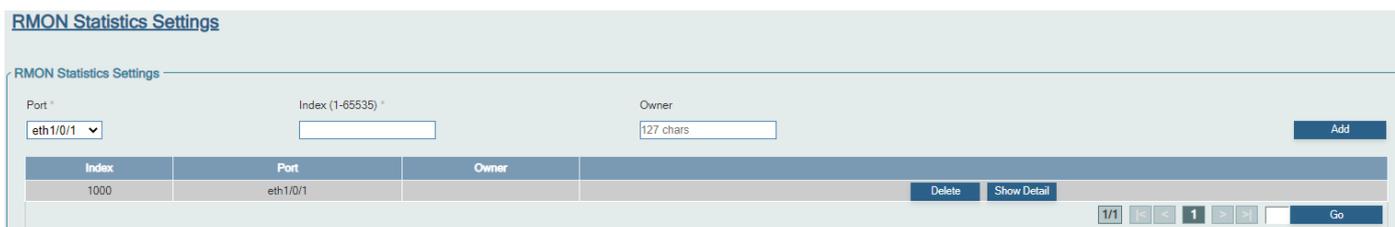
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」: RMON統計情報を収集するポートを選択します。

「Index」: 番号を入力します。

「Owner」: オーナー名を入力します。

※ 「Add」をクリックすると設定が追加されます。



The screenshot shows the 'RMON Statistics Settings' configuration page. It features input fields for 'Port' (a dropdown menu showing 'eth1/0/1'), 'Index (1-65535)', and 'Owner' (a text field with '127 chars'). An 'Add' button is on the right. Below these fields is a table with columns for 'Index', 'Port', and 'Owner'. The table contains one entry with Index '1000' and Port 'eth1/0/1'. There are 'Delete' and 'Show Detail' buttons for this entry. At the bottom right, there is a pagination control showing '1/1' and a 'Go' button.

## 2-5-12 RMON History Settings (RMON 履歴設定)

「Management」 → 「RMON」 → 「RMON History」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」: RMON履歴を設定するポートを選択します。

「Index」: 番号を入力します。

「Bucket Number(1-65535)」: 履歴保持数を入力します。

「Interval (1-3600)」: 履歴保存間隔を入力します。

「Owner」: オーナー名を入力します。

※ 「Add」をクリックすると設定が追加されます。



The screenshot shows the 'RMON History Settings' configuration page. It has input fields for 'Port' (dropdown with 'eth1/0/1'), 'Index (1-65535)', 'Bucket Number (1-65535)' (text field with '50'), 'Interval (1-3600) sec' (text field with '1800'), and 'Owner' (text field with '127 chars'). An 'Add' button is on the right. Below these fields is a table with columns for 'Index', 'Port', 'Buckets Requested', 'Buckets Granted', 'Interval', and 'Owner'.

## 2-5-13 RMON Alarm Settings (RMON アラーム設定)

「Management」 → 「RMON」 → 「RMON Alarm」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Index (1-65535)」：番号を入力します。

「Variable」：MIB変数の値を入力します。

「Rising Threshold (0-2147483647)」：上昇しきい値を設定します。

「Rising Event Number (1-65535)」：上昇しきい値を超えた際のイベント番号を入力します。

「Owner」：オーナー名を入力します。

「Interval」：サンプリング間隔を入力します。

「Type」：サンプリング種別を選択します。

- 選択肢：「Absolute」「Delta」

「Failing Threshold」：下降しきい値を設定します。

「Failing Event Number (1-65535)」：下降しきい値を超えた際のイベント番号を入力します。

※「Add」をクリックすると設定が追加されます。

### RMON Alarm Settings

**RMON Alarm Settings**

Index (1-65535) *	<input type="text"/>	Interval (1-2147483647) *	<input type="text"/> sec
Variable *	<input type="text" value="N.N.N..N"/>	Type	<input type="text" value="Absolute"/>
Rising Threshold (0-2147483647) *	<input type="text"/>	Falling Threshold (0-2147483647) *	<input type="text"/>
Rising Event Number (1-65535)	<input type="text"/>	Falling Event Number (1-65535)	<input type="text"/>
Owner	<input type="text" value="1-127 chars"/>		

[Add](#)

Total Entries: 0										
Index	Interval (sec)	Variable	Type	Last Value	Rising Threshold	Falling Threshold	Rising Event No.	Falling Event No.	Startup Alarm	Owner

## 2-5-14 RMON Event Settings (RMON イベント設定)

「Management」 → 「RMON」 → 「RMON Event」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Index」:番号を入力します。

「Description」:説明を入力します。

「Type」:タイプを選択します。

- 選択肢: 「None」 「Log」 「Trap」 「Log and Trap」

「Community」:コミュニティ名を入力します。

「Owner」:オーナー名を入力します。

※ 「Add」 をクリックすると設定が追加されます。



The screenshot shows the 'RMON Event Settings' configuration page. It includes a form with the following fields: 'Index (1-65535)', 'Description (1-127 chars)', 'Type' (a dropdown menu currently set to 'None'), 'Community (1-127 chars)', and 'Owner (1-127 chars)'. There is an 'Add' button on the right side of the form. Below the form, a table header is visible with columns: 'Index', 'Description', 'Community', 'Event Trigger', 'Owner', and 'Last Trigger Time'. The table currently shows 'Total Entries: 0'.

## 2-5-15 Telnet Settings (Telnet 設定)

「Management」 → 「Telnet」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Telnet State」: 「Enabled」 または 「Disabled」 を選択します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'Telnet Settings' configuration page. It features a 'Telnet State' section with two radio buttons: 'Enabled' (which is selected) and 'Disabled'. An 'Apply' button is located on the right side of the page.

## 2-5-16 HTTP/HTTPS (HTTP/HTTPS 設定)

「Management」 → 「HTTP/HTTPS」 の順にクリックします。

「Web Session」: 「HTTP」 または 「HTTPS」 を選択します。

「Web Session Timeout (60-36000)」: ウェブセッションのタイムアウト時間を入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'HTTP/HTTPS' configuration page. It includes a 'Web Session' section with two radio buttons: 'HTTP' (selected) and 'HTTPS'. Below it is a 'Web Session Timeout (60-36000)' field with a value of '180' and a unit of 'sec'. An 'Apply' button is on the right.

## 2-6 L2Features (レイヤー2 機能の設定)

### 2-6-1 Unicast Static FDB (ユニキャストスタティック FDB)

「L2Features」 → 「FDB」 → 「Static FDB」 → 「Unicast Static FDB」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」:入力したMACアドレスの存在するポートを選択します。

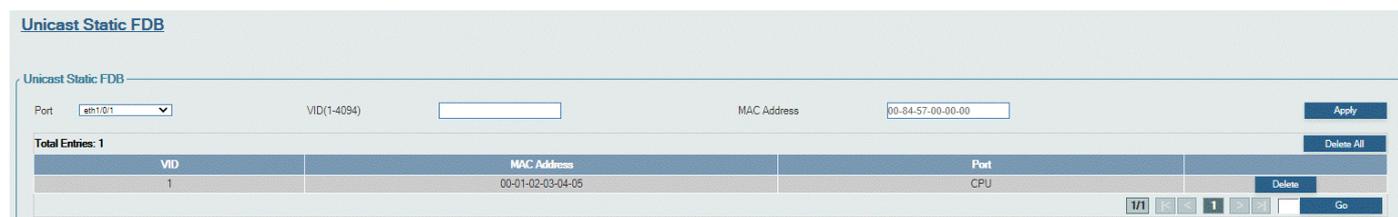
「VID」:対象のMACアドレスが所属するVLANのVLAN IDを入力します。

「MAC Address」:パケットが静的に転送または破棄されるMACアドレスを入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

※ 「Delete All」 :すべてのエントリを削除します。

※ 「Delete」 :特定のエントリを削除します。



### 2-6-2 Multicast Static FDB (マルチキャストスタティック FDB)

「L2Features」 → 「FDB」 → 「Static FDB」 → 「Multicast Static FDB」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:本設定を適用するポート範囲を選択します。

「VID」:対象のMACアドレスが所属するVLANのVLAN IDを入力します。

「MAC Address」:マルチキャストパケットのスタティック送信先MACアドレスを入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

※ 「Delete All」 :すべてのエントリを削除します。

※ 「Delete」 :特定のエントリを削除します。



### 2-6-3 MAC Address Table Settings (MAC アドレステーブル設定)

「L2Features」 → 「FDB」 → 「MAC Address Table Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

#### Global Settings

「Aging Time (0,10-1000000)」: MACアドレスの保持時間を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'MAC Address Table Settings' page with the 'Global Settings' tab selected. The 'Aging Time (0, 10 - 1000000)' field is set to 300 seconds. An 'Apply' button is visible in the bottom right corner.

#### MAC Address Learning

「From Port/To Port」: 本設定を適用するポート範囲を選択します。

「State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'MAC Address Table Settings' page with the 'MAC Address Learning' tab selected. The 'From Port' and 'To Port' are both set to 'eth1/0/1', and the 'State' is set to 'Enabled'. Below the settings is a table listing ports and their states.

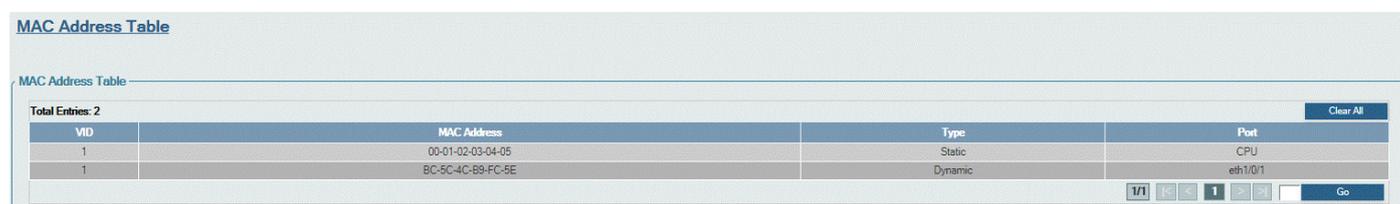
Port	State
eth1/0/1	Enabled
eth1/0/2	Enabled
eth1/0/3	Enabled
eth1/0/4	Enabled
eth1/0/5	Enabled
eth1/0/6	Enabled
eth1/0/7	Enabled
eth1/0/8	Enabled
eth1/0/9	Enabled
eth1/0/10	Enabled
eth1/0/11	Enabled
eth1/0/12	Enabled

### 2-6-4 MAC Address Table (MAC アドレステーブル)

「L2Features」 → 「FDB」 → 「MAC Address Table」の順にクリックします。

MACアドレステーブルが表示されます。

※「Clear All」: ダイナミックMACアドレスを再取得します。



The screenshot shows the 'MAC Address Table' page. It displays a table with 2 entries. A 'Clear All' button is in the top right. A pagination control at the bottom shows '1/1' entries and a 'Go' button.

VID	MAC Address	Type	Port
1	00-01-02-03-04-05	Static	CPU
1	BC-5C-4C-B8-FC-5E	Dynamic	eth1/0/1

## 2-6-5 VLAN Configuration Wizard (VLAN 設定)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「VLAN Configuration Wizard」の順にクリックします。

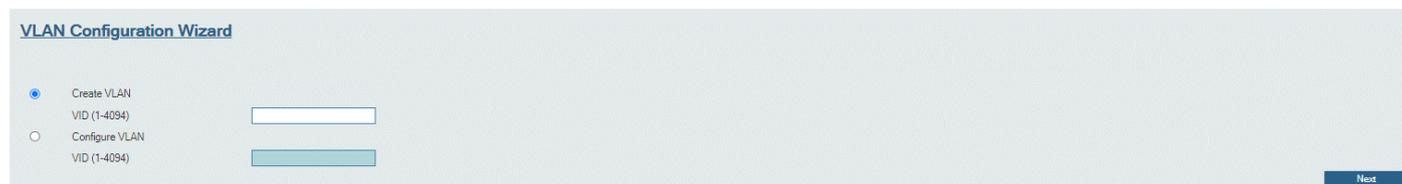
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Create VLAN」：VLAN作成時に選択します。

「Configure VLAN」：VLAN設定変更時に選択します。

「VID」：追加（変更）するVID（VLAN ID）を入力します。

※ 「NEXT」をクリックします。



「VLAN NAME」：追加（変更）するVIDのVLAN名を入力します。

「Tagged」：VLANタグを付与して送信する。

「Untagged」：VLANタグを除去して送信する。

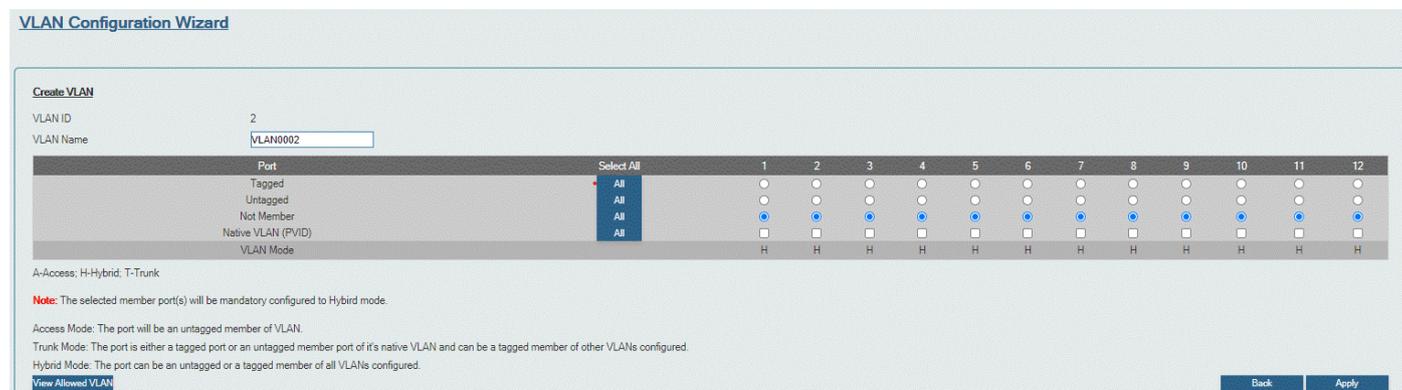
「Not Member」：VLANのメンバーに含まない。

「Native VLAN(PVID)」：ネイティブVLANに指定するポートを選択します。

「VLAN Mode」：VLANのモードを表示します。

※ 「All」をクリックするとすべてのポートを選択できます。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



Port	Select All	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Tagged	All	<input type="radio"/>											
Untagged	All	<input type="radio"/>											
Not Member	All	<input type="radio"/>											
Native VLAN (PVID)	All	<input checked="" type="radio"/>											
VLAN Mode		H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H	H

A-Access, H-Hybrid, T-Trunk

**Note:** The selected member port(s) will be mandatory configured to Hybrid mode.

Access Mode: The port will be an untagged member of VLAN.  
 Trunk Mode: The port is either a tagged port or an untagged member port of its native VLAN and can be a tagged member of other VLANs configured.  
 Hybrid Mode: The port can be an untagged or a tagged member of all VLANs configured.

[View Allowed VLAN](#) Back Apply

## 2-6-6 802.1Q VLAN (VLAN 管理)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「802.1Q VLAN」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

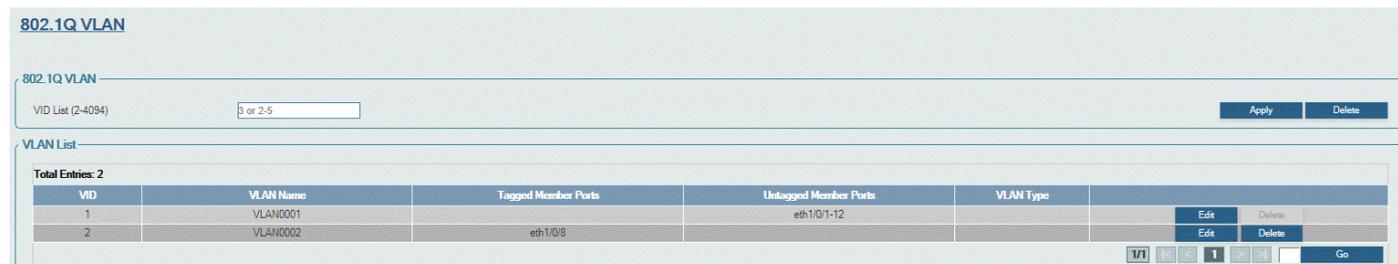
### 802.1Q VLAN

「VID List」:追加または削除するVID番号を入力し、「Apply」または「Delete」をクリックします。

### VLAN List

※ 「Edit」をクリックするとVLAN Nameが変更できます。

※ 「Delete」をクリックするとVLANを削除します。



**802.1Q VLAN**

802.1Q VLAN

VID List (2-4094)  Apply Delete

VLAN List

Total Entries: 2

VID	VLAN Name	Tagged Member Ports	Untagged Member Ports	VLAN Type	
1	VLAN0001		eth1/0/1-12		<span>Edit</span> <span>Delete</span>
2	VLAN0002	eth1/0/8			<span>Edit</span> <span>Delete</span>

1/1 Go

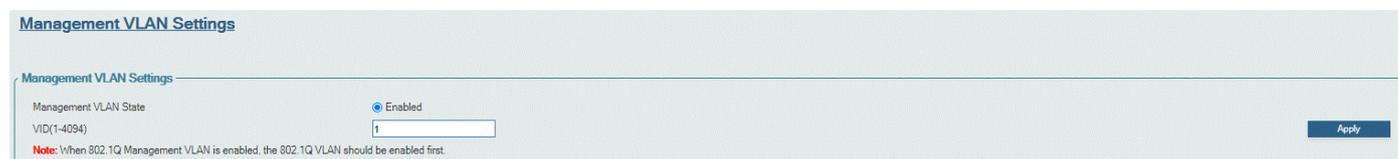
## 2-6-7 Management VLAN Settings (マネジメント VLAN 設定)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Management VLAN」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「VID」:マネジメントVLANのID番号を入力します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



**Management VLAN Settings**

Management VLAN Settings

Management VLAN State  Enabled

VID(1-4094)  Apply

**Note:** When 802.1Q Management VLAN is enabled, the 802.1Q VLAN should be enabled first.

## 2-6-8 GVRP Global (GVRP グローバル)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「GVRP」 → 「GVRP Global」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### GVRP Global

「Global GVRP State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Dynamic VLAN Creation」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### GVRP Time Settings

「Join Time (1-20)」: ジョインタイムを入力します。

「Leave Time (60-300)」: リーブタイムを入力します。

「Leave All Time (1000-5000)」: リーブオールタイムを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### GVRP Global

**GVRP Global**

Global GVRP State       Enabled     Disabled

Dynamic VLAN Creation     Enabled     Disabled

[Apply](#)

**GVRP Time Settings**

Join Time(1-20)       centiseconds

Leave Time(60-300)     centiseconds

Leave All Time(1000-5000)     centiseconds

**Note:**

The Leave Time should be no less than 3 \* Join Time.

Leave All Time should be greater than Leave Time.

[Apply](#)

## 2-6-9 GVRP Port (GVRP ポート)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「GVRP」 → 「GVRP Port」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:本設定を適用するポート範囲を選択します。

「GVRP Status」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### GVRP Port

From Port

To Port

GVRP Status

Port	GVRP Status
eth1/0/1	Disabled
eth1/0/2	Disabled
eth1/0/3	Disabled
eth1/0/4	Disabled
eth1/0/5	Disabled
eth1/0/6	Disabled
eth1/0/7	Disabled
eth1/0/8	Disabled
eth1/0/9	Disabled
eth1/0/10	Disabled
eth1/0/11	Disabled
eth1/0/12	Disabled

## 2-6-10 GVRP Advertise VLAN (GVRP アドバタイズ VLAN)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「GVRP」 → 「GVRP Advertise VLAN」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:本設定を適用するポート範囲を選択します。

「Action」:アクションを選択します。

- 選択肢: 「All」 「Add」 「Remove」 「Replace」

「Advertise VID List」:VIDリストを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### GVRP Advertise VLAN

From Port

To Port

Action

Advertise VID List

Port	Advertise VLAN
eth1/0/1	
eth1/0/2	
eth1/0/3	
eth1/0/4	
eth1/0/5	
eth1/0/6	
eth1/0/7	
eth1/0/8	
eth1/0/9	
eth1/0/10	
eth1/0/11	
eth1/0/12	

## 2-6-11 GVRP Forbidden VLAN (GVRP フォービドゥン VLAN)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「GVRP」 → 「GVRP Forbidden VLAN」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:本設定を適用するポート範囲を選択します。

「Action」:アクションを選択します。

- 選択肢: 「All」 「Add」 「Remove」 「Replace」

「Advertise VID List」:VIDリストを入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

### GVRP Forbidden VLAN

GVRP Forbidden VLAN

From Port	To Port	Action	Forbidden VID List	
<input type="text" value="eth1/0/1"/>	<input type="text" value="eth1/0/1"/>	<input type="text" value="Add"/>	<input type="text" value="2 or 3-5"/>	<input type="button" value="Apply"/>

Port	Forbidden VLAN
eth1/0/1	
eth1/0/2	
eth1/0/3	
eth1/0/4	
eth1/0/5	
eth1/0/6	
eth1/0/7	
eth1/0/8	
eth1/0/9	
eth1/0/10	
eth1/0/11	
eth1/0/12	

## 2-6-12 Asymmetric VLAN (アシメトリック VLAN)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Asymmetric VLAN」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「GVRP Status」: 「Enabled」 または 「Disabled」 を選択します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

### Asymmetric VLAN

Asymmetric VLAN

Asymmetric VLAN State  Enabled  Disabled

## 2-6-13 VLAN Interface (VLAN インターフェイス)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「VLAN Interface」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### VLAN Interface Settings

「Show Detail」:VLANインターフェイス情報が表示されます。

「Edit」:VLANインターフェイス設定画面が表示されます。

### VLAN Interface

VLAN Interface Settings		Port Summary	
Port	VLAN Mode	Ingress Checking	Acceptable Frame Type
eth1/0/1	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/2	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/3	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/4	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/5	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/6	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/7	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/8	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/9	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/10	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/11	Hybrid	Enabled	Admit All
eth1/0/12	Hybrid	Enabled	Admit All

「Show Detail」クリック時

### 2-6-13-1 VLAN Interface Information(VLAN インターフェイス情報)

### VLAN Interface Information

#### VLAN Interface Information

Port	eth1/0/1
VLAN Mode	Hybrid
Native VLAN	1
Hybrid Untagged VLAN	1
Hybrid Tagged VLAN	-
Dynamic Tagged VLAN	-
Ingress Checking	Enabled
Acceptable Frame Type	Admit All

<<Back

「Edit」をクリック時

## 2-6-13-2 Configure VLAN Interface (VLAN インターフェイス設定)

「VLAN Mode」:VLANモードを選択します。

- 選択肢: 「Access」 「Hybrid」 「Trunk」

「Acceptable Frame」:受信可能なフレームタイプを選択します。

- 選択肢: 「Tagged Only」 「Untagged Only」 「Admit All」

「Ingress Checking」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Native VLAN」:ネイティブVLANに指定する場合はチェックを入れます。

「Action」:アクションを選択します。

- 選択肢: 「Add」 「Remove」 「Tagged」 「Untagged」

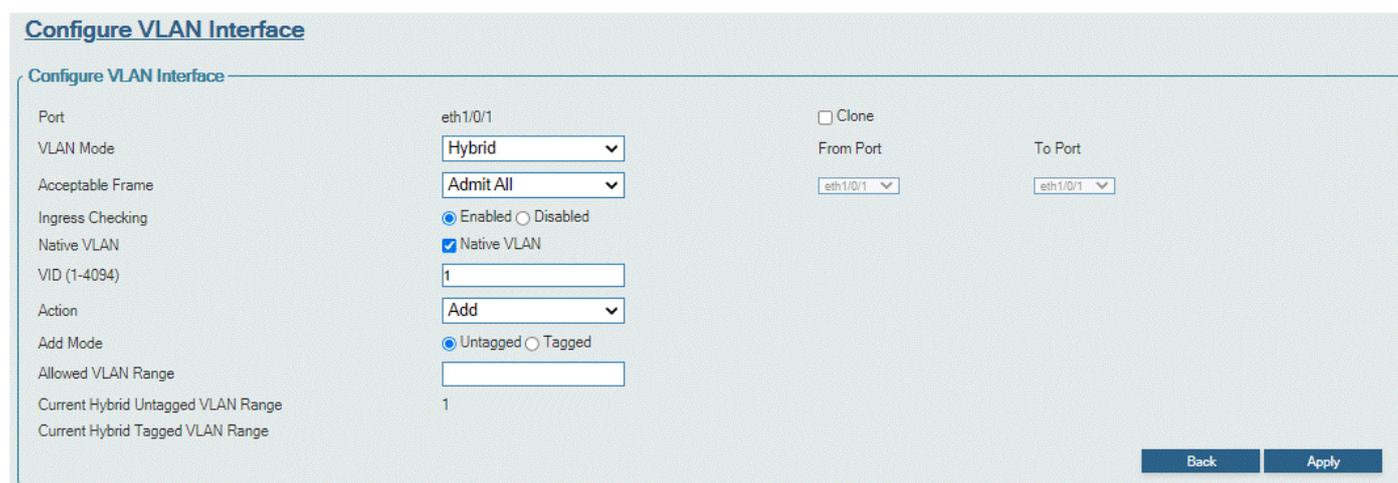
「Add Mode」: 「Untagged」または「Tagged」を選択します。※「Add」選択時

「Allowed VLAN Range」:転送を許可するVLANレンジを入力します。

「Clone」:他のポート設定を複製する場合はチェックを入れます。

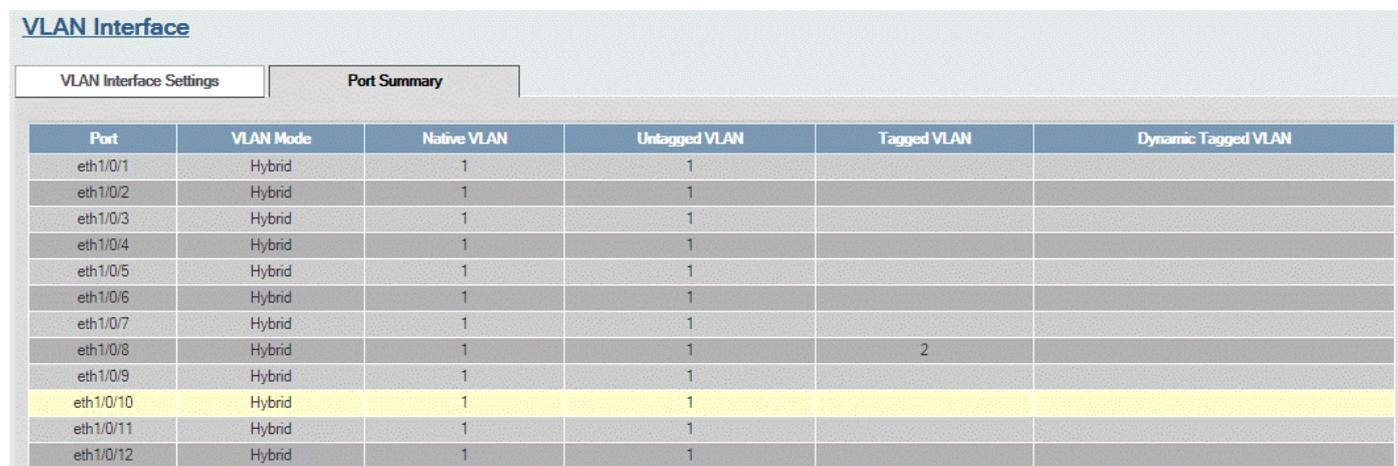
「From Port/To Port」:設定を複製するポート範囲を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



## Port Summary

VLAN インターフェイスステータスが表示されます。



Port	VLAN Mode	Native VLAN	Untagged VLAN	Tagged VLAN	Dynamic Tagged VLAN
eth1/0/1	Hybrid	1	1		
eth1/0/2	Hybrid	1	1		
eth1/0/3	Hybrid	1	1		
eth1/0/4	Hybrid	1	1		
eth1/0/5	Hybrid	1	1		
eth1/0/6	Hybrid	1	1		
eth1/0/7	Hybrid	1	1		
eth1/0/8	Hybrid	1	1	2	
eth1/0/9	Hybrid	1	1		
eth1/0/10	Hybrid	1	1		
eth1/0/11	Hybrid	1	1		
eth1/0/12	Hybrid	1	1		

## 2-6-14 Auto Surveillance Properties (自動サーベイランスプロパティ)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Auto Surveillance VLAN」 → 「Auto Surveillance Properties」の順にクリックします。

### Global Settings

「Surveillance VLAN State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Surveillance VLAN ID」:サーベイランスVLAN IDを入力します。

「Surveillance VLAN Cos」:サーベイランスVLAN Cos値を入力します。

「Aging Time」:エイジングタイムを入力します。

「ONVIF Discover Port」:オンビフディスカバーポートの番号を入力します。

「Log State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### ONVIF Global Status

検出されたデバイス・IPカメラ・NVRの数量が表示されます。

### Port Settings

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

#### Auto Surveillance Properties

##### Global Settings

Surveillance VLAN State	<input type="radio"/> Enabled <input checked="" type="radio"/> Disabled
Surveillance VLAN ID (2-4094)	<input type="text" value=""/>
Surveillance VLAN CoS	<input type="text" value="5"/>
Aging Time (1-65535)	<input type="text" value="720"/> min
ONVIF Discover Port (554, 1025-65535)	<input type="text" value="554"/>
Log State	<input checked="" type="radio"/> Enabled <input type="radio"/> Disabled

Note: Surveillance VLAN ID and Voice VLAN ID cannot be the same.

[Apply](#)

##### ONVIF Global Status

Surveillance Device Detected (OUI)	0
IP-Camera Detected (ONVIF)	0
NVR Detected (ONVIF)	0

##### Port Settings

From Port	To Port	State
<input type="text" value="eth1/0/1"/>	<input type="text" value="eth1/0/1"/>	<input type="text" value="Disabled"/>

[Apply](#)

Port	State
eth1/0/1	Disabled
eth1/0/2	Disabled
eth1/0/3	Disabled
eth1/0/4	Disabled
eth1/0/5	Disabled
eth1/0/6	Disabled
eth1/0/7	Disabled
eth1/0/8	Disabled
eth1/0/9	Disabled
eth1/0/10	Disabled
eth1/0/11	Disabled
eth1/0/12	Disabled

## 2-6-15 MAC Settings and Surveillance Device (MAC 設定とサーベイランスデバイス)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Auto Surveillance VLAN」 → 「MAC Settings and Surveillance Device」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### User-defined MAC Setting

「Component Type」:コンポーネントのタイプを選択します。

- 選択肢: 「VideoManagement Server」 「VMS Client/Remote Viewer」 「Video Encoder」 「Network Storage」 「OtherIP Surveillance Device」

「MAC Address」:MACアドレスを入力します。

「Description」:説明を入力します。

「Mask」:マスクを入力します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



**MAC Settings and Surveillance Device**

User-defined MAC Setting | Auto Surveillance VLAN Summary

To add more device(s) for Auto Surveillance VLAN by user-defined configuration as below:

Component Type: Video Management Server | Description: 8 chars

MAC Address: 00-01-02-03-00-00 | Mask: FF-FF-FF-00-00-00

Total Entries: 0

ID	Component Type	Description	MAC Address	Mask
----	----------------	-------------	-------------	------

### Auto Surveillance VLAN Summary

オートサーベイランスVLANの概要が表示されます。



**MAC Settings and Surveillance Device**

User-defined MAC Setting | Auto Surveillance VLAN Summary

Total Entries: 0

Port	Component Type	Description	MAC Address	Start Time
------	----------------	-------------	-------------	------------

## 2-6-16 ONVIF IP-Camera Information (オンビフ IP カメラ情報)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Auto Surveillance VLAN」 → 「ONVIF IP-Camera Information」の順にクリックします。

通信中のオンビフ対応IPカメラの情報を表示されます。



**ONVIF IP-Camera Information**

ONVIF IP-Camera Information

Total Entries Discovered: 0

Port	IP Address	MAC Address	Model	Manufacturer	Traffic	Description
------	------------	-------------	-------	--------------	---------	-------------

Note: System probes IP-Camera every 30s

## 2-6-17 ONVIF NVR Information (オンビフ NVR 情報)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Auto Surveillance VLAN」 → 「ONVIF NVR Information」の順にクリックします。  
通信中のオンビフ対応NVRの情報を表示されます。

**ONVIF NVR Information**

ONVIF NVR Information

Total Entries Discovered: 0

Port	IP Address	MAC Address	IP-Camera Number	Group	Description
<b>Note:</b> System probes IP-Camera every 30s.					

## 2-6-18 Voice VLAN Global (音声 VLAN グローバル)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Voice VLAN」 → 「Voice VLAN Global」の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Voice VLAN State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Voice VLAN ID」: 音声VLAN IDを入力します。

「Voice VLAN CoS」: 音声VLAN CoS値を入力します。

「Aging Time」: エイジングタイムを入力します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**Voice VLAN Global**

Voice VLAN Global

Voice VLAN State:  Enabled  Disabled

Voice VLAN ID (2-4094):

Voice VLAN CoS:

Aging Time (1-65535):  min

**Note:** Surveillance VLAN ID and Voice VLAN ID can not be the same.

[Apply](#)

## 2-6-19 Voice VLAN Port (音声 VLAN ポート)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Voice VLAN」 → 「Voice VLAN Port」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Mode」:モードを選択します。

- 選択肢:「Auto Untagged」「Auto Tagged」「Manual」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**Voice VLAN Port**

Voice VLAN Port

From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1 State: Disabled Mode: Auto Untagged Apply

Port	State	Mode
eth1/0/1	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/2	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/3	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/4	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/5	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/6	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/7	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/8	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/9	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/10	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/11	Disabled	Auto Untagged
eth1/0/12	Disabled	Auto Untagged

## 2-6-20 Voice VLAN OUI (音声 VLAN OUI)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Voice VLAN」 → 「Voice VLAN OUI」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「OUI Address」:OUIアドレスを入力します。

「Mask」:マスクを入力します。

「Description」:説明を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**Voice VLAN OUI**

Voice VLAN OUI

OUI Address: 00-01-E3-00-00-00 Mask: FF-FF-FF-00-00-00 Description: 8 chars Apply

Total Entries: 8

OUI Address	Mask	Description	
00-E0-8B-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	3COM	Delete
00-03-6B-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Cisco	Delete
00-E0-75-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Veritel	Delete
00-00-1E-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Pingtel	Delete
00-01-E3-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Siemens	Delete
00-60-89-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	NEC/Philips	Delete
00-0F-E2-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Huawei3COM	Delete
00-09-6E-00-00-00	FF-FF-FF-00-00-00	Avaya	Delete

## 2-6-21 Voice VLAN Device (音声 VLAN デバイス)

「L2Features」 → 「VLAN」 → 「Voice VLAN」 → 「Voice VLAN Device」の順にクリックします。  
通信中の音声VLANデバイス情報を表示します。

Voice VLAN Device			
Voice VLAN Device Table			
Total Entries: 0			
Port	Voice Device Address	Start Time	

## 2-6-22 Spanning Tree Global Settings (スパンニングツリーグローバル設定)

「L2Features」 → 「Spanning Tree」 → 「STP Global Settings」の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### Spanning Tree State

「Spanning Tree State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。  
※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### Spanning Tree Mode

「Spanning Tree Mode」: スパンニングツリーのモードを選択します。  
• 選択肢: 「MSTP」「RSTP」「STP」  
※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### STP Traps

「STP New Root Trap」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。  
「STP Topology Change Trap」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。  
※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### STP Priority

「Priority (0-61440)」: プライオリティを入力します。  
※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### BPDU Forward

「BPDU Forward」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。  
※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Spanning Tree Global Settings			
<b>Spanning Tree State</b>			
Spanning Tree State	<input type="radio"/> Enabled	<input checked="" type="radio"/> Disabled	<a href="#">Apply</a>
<b>Spanning Tree Mode</b>			
Spanning Tree Mode	<input type="radio"/> MSTP	<input checked="" type="radio"/> RSTP	<input type="radio"/> STP
<b>STP Traps</b>			
STP New Root Trap	<input type="radio"/> Enabled	<input checked="" type="radio"/> Disabled	<a href="#">Apply</a>
STP Topology Change Trap	<input type="radio"/> Enabled	<input checked="" type="radio"/> Disabled	
<b>STP Priority</b>			
Priority (0-61440)	<input type="text" value="32768"/>		<a href="#">Apply</a>
<b>BPDU Forward</b>			
BPDU Forward	<input type="radio"/> Enabled	<input checked="" type="radio"/> Disabled	<a href="#">Apply</a>

## 2-6-23 STP Port Settings (STP ポート設定)

「L2Features」 → 「Spanning Tree」 → 「STP Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Port Fast」:ポートファストを選択します。

- 選択肢: 「Network」 「Disabled」 「Edge」

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**STP Port Settings**

STP Port Settings

From Port:  To Port:  Port Fast:

Port	Cost	Port Fast	Priority	State
eth1/0/1	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/2	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/3	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/4	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/5	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/6	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/7	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/8	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/9	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/10	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/11	20000000	Edge	128	Link down
eth1/0/12	20000000	Edge	128	Link down

## 2-6-24 MST Configuration Identification (MST インスタンス設定)

「L2Features」 → 「Spanning Tree」 → 「MST Configuration Identification」の順にクリックします。

MST Configuration Identification

「Configuration Name」:設定名を入力します。

「Revision Level (0-65535)」: MSTリージョンの値を入力します。

「Digest」:ダイジェストが表示されます。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

Instance ID Settings

「Instance ID (1-7)」:インスタンスIDを入力します。

「Action」:アクションを選択します。

- 選択肢: 「Add VID」 「Remove VID」

「VID List」: VIDリストを入力します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**MST Configuration Identification**

MST Configuration Identification

Configuration Name:   
Revision Level (0-65535):   
Digest: AC36177F50283CD4B83821D8A826DE62

Instance ID Settings

Instance ID (1-7):   
Action:   
VID List:

Total Entries: 1

Instance ID	VID List	Delete
CIST	1-4094	<input type="button" value="Delete"/>

1/1

## 2-6-25 STP Instance (STP インスタンス)

「L2Features」 → 「Spanning Tree」 → 「STP Instance」 の順にクリックします。

STPインスタンスが表示されます。

**STP Instance**

Total Entries: 1

Instance	Instance State	Instance Priority	
CIST	Disabled	32768(32768 sysid 0)	<a href="#">Edit</a>

1/1  [Go](#)

Instance CIST

	CIST Global Info[Mode:RSTP]
Bridge Address	00-01-02-03-04-05
Designated Root Address / Priority	00-01-02-03-04-05 / 32768
Regional Root Bridge Address / Priority	00-01-02-03-04-05 / 32768
Designated Bridge Address / Priority	00-01-02-03-04-05 / 32768

## 2-6-26 MSTP Port Information (MSTP ポート情報)

「L2Features」 → 「Spanning Tree」 → 「MSTP Port Information」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」:情報を表示するポートを選択します

※「Find」をクリックするとMSTPポート情報が表示されます。

**MSTP Port Information**

MSTP Port Information

Port:  [Find](#)

eth1/0/1 Settings

Instance ID	Cost	Priority	Status	Role
-------------	------	----------	--------	------

## 2-6-27 ERPS (ERPS 設定)

「L2Features」 → 「ERPS (G.8032)」 → 「ERPS」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

ERPS Status

Ethernet Ring G.8032

「Ring Name」:リング名を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**ERPS**

ERPS Status [ERPS Brief](#)

Ethernet Ring G.8032

Ring Name:  [Apply](#)

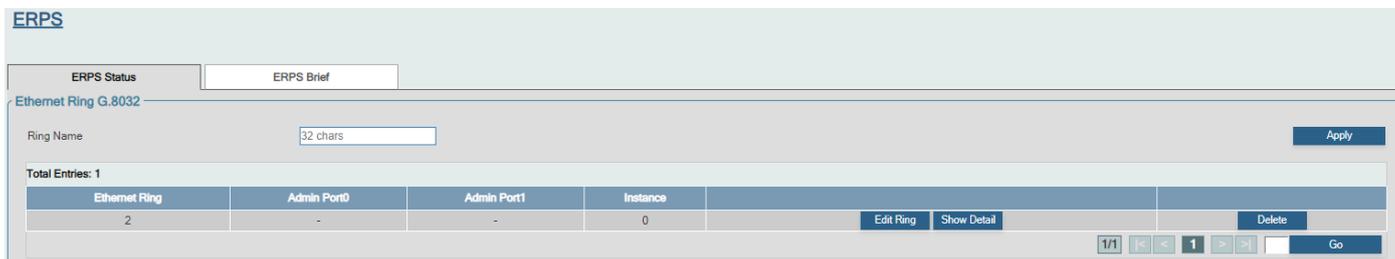
Total Entries: 0

Ethernet Ring	Admin Port0	Admin Port1	Instance
---------------	-------------	-------------	----------

Apply クリック後

「Edit Ring」:Edit Ethernet Ring が表示されます。

「Show Detail」: ERPS Status が表示されます。



Edit Ring クリック後

### 2-6-27-1 Edit Ethernet Ring (イーサネットリング編集)

Ethernet Ring Settings

「Ethernet Ring Name」:イーサネットリング名が表示されます。

「Instance ID」:チェックBOXにチェックを入れ、インスタンスIDを入力します。

「Port0」: チェックBOXにチェックを入れ、ポート番号を選択します。

「Port1」: チェックBOXにチェックを入れ、ポート番号を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

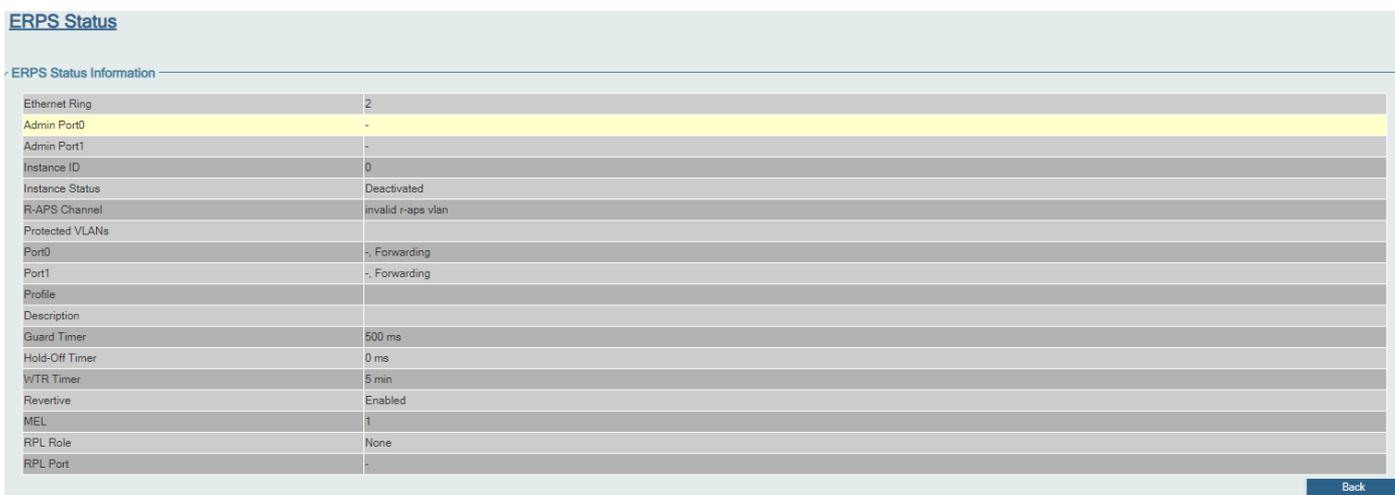


Show Detail クリック後

### 2-6-27-2 ERPS Status (ERPS ステータス)

ERPS Status Information

ERPS ステータス情報が表示されます。



Ethernet Ring	2
Admin Port0	-
Admin Port1	-
Instance ID	0
Instance Status	Deactivated
R-APS Channel	invalid r-aps vlan
Protected VLANs	
Port0	-, Forwarding
Port1	-, Forwarding
Profile	
Description	
Guard Timer	500 ms
Hold-Off Timer	0 ms
WTR Timer	5 min
Revertive	Enabled
MEL	1
RPL Role	None
RPL Port	-

## ERPS Brief

ERPS情報が表示されます。

ERPS Status		ERPS Brief		
Total Entries: 1				
Ethernet Ring	Instance ID	Status	Port State	
2	0	Deactivated	-	<a href="#">Edit Instance</a>
				1/1   < >   1   > >   Go

Edit instance クリック後

### 2-6-27-3 Edit Ethernet Instance (イーサネットインスタンス編集)

#### Ethernet Instance Settings

「Ethernet Ring Name」: リング名が表示されます。

「Instance ID」: インスタンス ID が表示されます。

「Description」: チェック B O X にチェックを入れ、説明を入力します。

「R-APS Channel VLAN(1-4094)」: チェック B O X にチェックを入れ、VLAN ID を入力します。

「Inclusion VLAN List」: チェック B O X にチェックを入れ、許可 VLAN リストを入力します。

「MEL(0-7)」: チェック B O X にチェックを入れ、MEL 値を入力します。

「Profile Name」: チェック B O X にチェックを入れ、プロファイル名を入力します。

「RPL Port」: RPL Role のチェック B O X にチェックを入れ、RPL ポートを選択します。

「RPL Role」: RPL Rol を選択します。

- 選択肢: 「Neighbor」 「Owner」

「Activate」: チェック B O X にチェックを入れ、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

#### Edit Ethernet Instance

**Ethernet Instance Settings**

Ethernet Ring Name	2
Instance ID	2
Description	<input type="text" value="64 chars"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
R-APS Channel VLAN (1-4094)	<input type="text"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
Inclusion VLAN List	<input type="text" value="1,3-5"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
MEL (0-7)	<input type="text" value="1"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
Profile Name	<input type="text" value="32 chars"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
RPL Port	<input type="text" value="Port0"/>
RPL Role	<input type="text" value="Owner"/> <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="radio"/> Specify
Activate	<input type="text" value="Disabled"/> <input type="checkbox"/>

## 2-6-28 ERPS Profile (ERPS プロファイル)

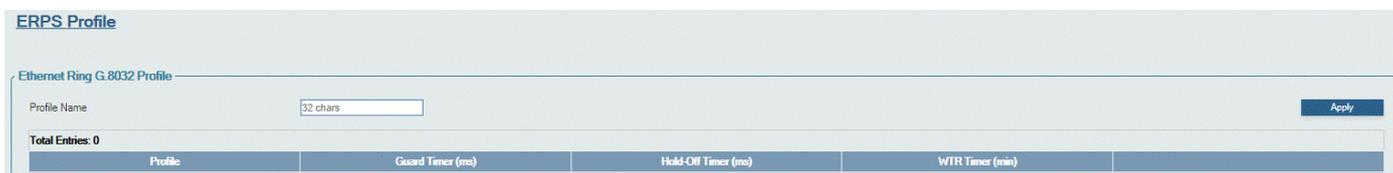
「L2Features」 → 「ERPS (G.8032)」 → 「ERPS Profile」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### Ethernet Ring G.8032 Profile

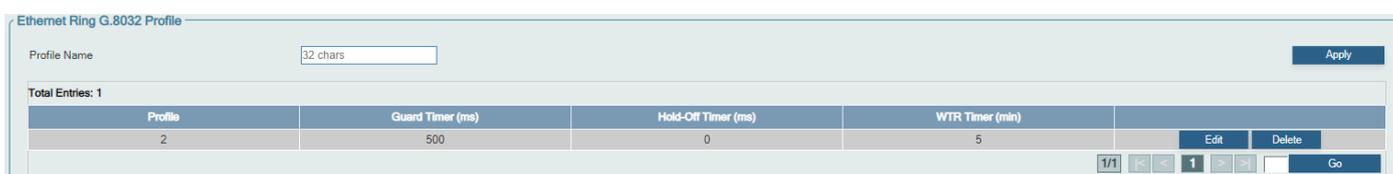
「Profile Name」：プロファイル名を入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



Profile	Guard Timer (ms)	Hold-Off Timer (ms)	WTR Timer (min)
Total Entries: 0			

### profilename 入力後



Profile	Guard Timer (ms)	Hold-Off Timer (ms)	WTR Timer (min)	Edit	Delete
2	500	0	5		

### Edit クリック後

## 2-6-28-1 Edit Ethernet Profile (イーサネットプロファイル編集)

### Ethernet Profile Settings

「Profile Name」：プロファイル名が表示されます。

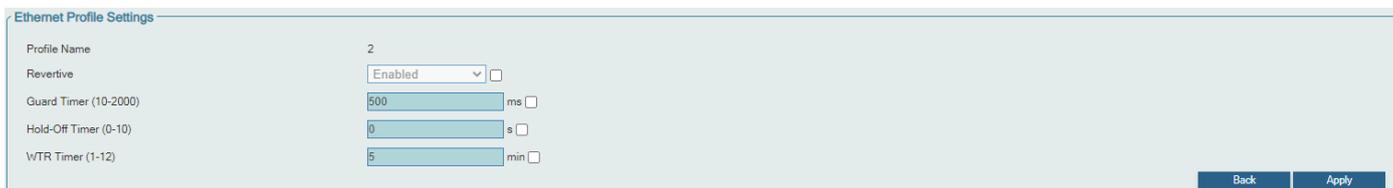
「Revertive」：チェックBOXにチェックを入れ、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Guard Timer(10-2000)」：チェックBOXにチェックを入れ、ガードタイマーを入力します。

「Hold-Off Timer(0-10)」：チェックBOXにチェックを入れ、ホールドオフタイマーを入力します。

「WTR Timer (1-12)」：チェックBOXにチェックを入れ、WTR タイマーを入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



Profile Name: 2

Revertive:  Enabled  Disabled

Guard Timer (10-2000):  ms

Hold-Off Timer (0-10):  s

WTR Timer (1-12):  min

## 2-6-29 Loopback Detection (ループバック検知機能)

「L2Features」 → 「Loopback Detection」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### Loopback Detection Global Settings

「Loopback Detection」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Time interval (1-32767)」：ループ検知間隔を入力します。

「Recover Time (0,60-1000000)」：ループバックが検知された場合にリカバリする時間を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### Loopback Detection Port Settings

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

#### Loopback Detection

##### Loopback Detection Global Settings

Loopback Detection  Enabled  Disabled

Time Interval (1-32767)  sec

Recover Time (0, 60-1000000)  sec

[Apply](#)

##### Loopback Detection Port Settings

From Port  To Port  State

Port	Loopback Detection State	Result
eth1/0/1	Disabled	Normal
eth1/0/2	Disabled	Normal
eth1/0/3	Disabled	Normal
eth1/0/4	Disabled	Normal
eth1/0/5	Disabled	Normal
eth1/0/6	Disabled	Normal
eth1/0/7	Disabled	Normal
eth1/0/8	Disabled	Normal
eth1/0/9	Disabled	Normal
eth1/0/10	Disabled	Normal
eth1/0/11	Disabled	Normal
eth1/0/12	Disabled	Normal

[Apply](#)

## 2-6-30 Link Aggregation (リンクアグリゲーション)

「L2Features」 → 「Link Aggregation」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### Channel Group Information

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「State」: Enabled」 (有効) または「Disabled」 (無効) を選択します。

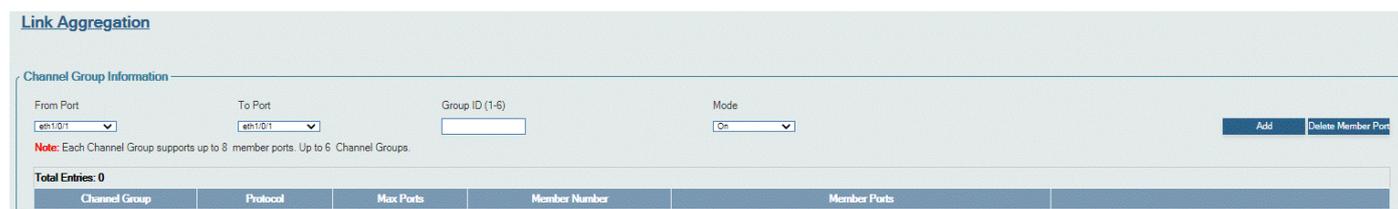
「Group ID」: グループIDを入力します。

「Mode」: モードを選択します。

- 選択肢: 「On」 「Active」 「Passive」

※ 「Add」 をクリックすると設定が追加されます。

※ 「Delete Member Port」 をクリックすると選択したポートをメンバーから削除します。



**Link Aggregation**

Channel Group Information

From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1 Group ID (1-6):  Mode: On

Note: Each Channel Group supports up to 8 member ports. Up to 6 Channel Groups.

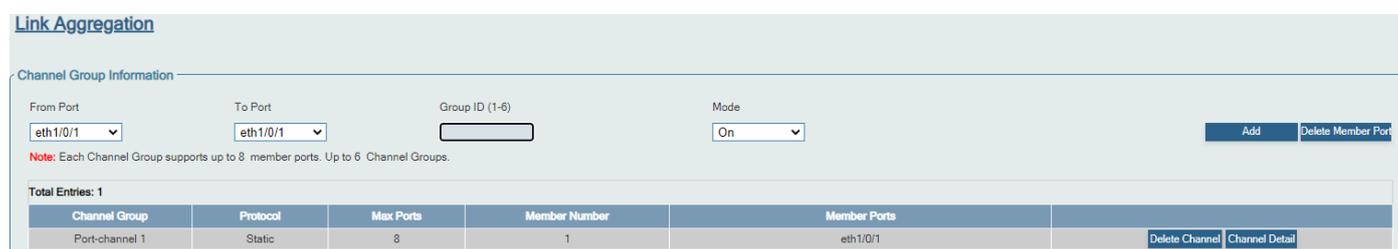
Total Entries: 0

Channel Group	Protocol	Max Ports	Member Number	Member Ports

### Addクリック後

「Delete Channel」: チャンネルを削除します。

「Channel Detail」: Port Channelを表示します。



**Link Aggregation**

Channel Group Information

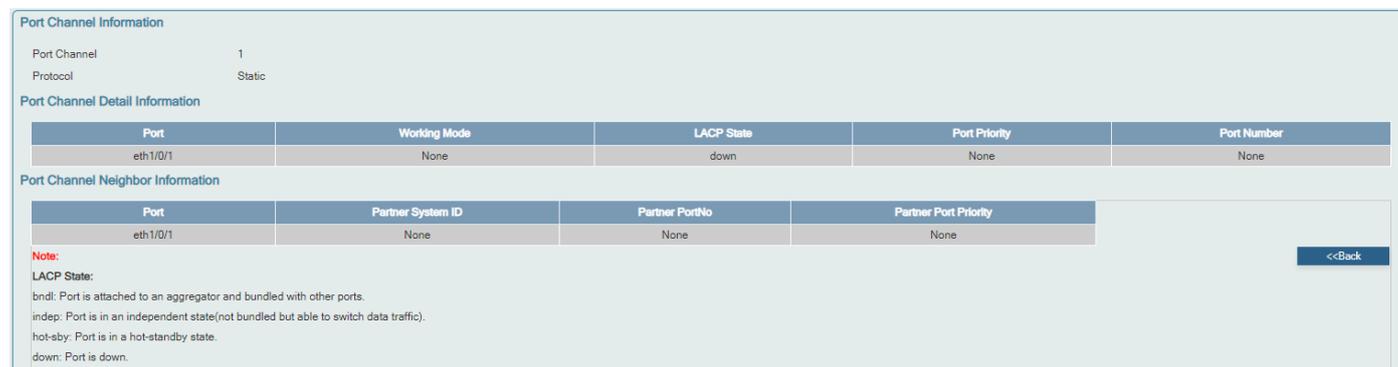
From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1 Group ID (1-6):  Mode: On

Note: Each Channel Group supports up to 8 member ports. Up to 6 Channel Groups.

Total Entries: 1

Channel Group	Protocol	Max Ports	Member Number	Member Ports
Port-channel 1	Static	8	1	eth1/0/1

### Channel Detailクリック後



**Port Channel Information**

Port Channel: 1  
Protocol: Static

**Port Channel Detail Information**

Port	Working Mode	LACP State	Port Priority	Port Number
eth1/0/1	None	down	None	None

**Port Channel Neighbor Information**

Port	Partner System ID	Partner PortNo	Partner Port Priority
eth1/0/1	None	None	None

Note:  
LACP State:  
bncl: Port is attached to an aggregator and bundled with other ports.  
indep: Port is in an independent state(not bundled but able to switch data traffic).  
hot-standby: Port is in a hot-standby state.  
down: Port is down.

## 2-6-31 IGMP Snooping Settings (IGMP スヌーピング設定)

「L2Features」 → 「L2 Multicast Control」 → 「IGMP Snooping」 → 「IGMP Snooping Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### Global Setting

「Global State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### VLAN Status Setting

「VID」：対象のVLAN IDを入力し、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### VLAN Querier Status Setting

「VID」：対象のVLAN IDを入力し、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### VLAN Fast Leave Settings

「VID」：対象のVLAN IDを入力し、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

## IGMP Snooping Table

IGMPスヌーピングテーブルを表示します。

### IGMP Snooping Settings

**Global Settings**

Global State  Enabled  Disabled Apply

**VLAN Status Settings**

VID(1-4094)   Enabled  Disabled Apply

**VLAN Querier Status Settings**

VID(1-4094)   Enabled  Disabled Apply

**VLAN Fast Leave Settings**

VID(1-4094)   Enabled  Disabled Apply

**IGMP Snooping Table**

Total Entries: 2

VID	VLAN Name	Status	Querier Status	Fast Leave
1	VLAN0001	Disabled	Disabled	Disabled
2	VLAN0002	Disabled	Disabled	Disabled

1/1 < > 1 > >  Go

## 2-6-32 IGMP Snooping Groups Settings (IGMP Snooping グループ設定)

「L2Features」 → 「L2 Multicast Control」 → 「IGMP Snooping」 → 「IGMP Snooping Groups Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### IGMP Snooping Static Groups Settings

「VID」：登録または削除するグループのVLAN IDを入力します。

「Group Address」：登録または削除するグループのIPアドレスを入力します。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

※ 「Delete」 をクリックすると設定を削除します。

**IGMP Snooping Groups Settings**

IGMP Snooping Static Groups Settings

VID (1-4094)  Group Address  From Port  To Port

Total Entries: 0

VID	Groups Address	Ports
Total Entries: 0		

IGMP Snooping Groups Table

Total Entries: 0

VID	Groups Address	Source Address	FM	Exp(sec)	Ports
Total Entries: 0					

## 2-6-33 MLD Snooping Settings (MLD Snooping 設定)

「L2Features」 → 「L2 Multicast Control」 → 「MLD Snooping」 → 「MLD Snooping Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### Global Setting

「Global State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### VLAN Status Setting

「VID」：対象のVLAN IDを入力し、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### VLAN Querier Status Setting

「VID」：対象のVLAN IDを入力し、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### VLAN Fast Leave Settings

「VID」：対象のVLAN IDを入力し、「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

## MLD Snooping Table

MLDスヌーピングテーブルを確認できます。

**MLD Snooping Settings**

---

**Global Settings**

Global State  Enabled  Disabled Apply

---

**VLAN Status Settings**

VID(1-4094)   Enabled  Disabled Apply

---

**VLAN Querier Status Settings**

VID(1-4094)   Enabled  Disabled Apply

---

**VLAN Fast Leave Settings**

VID(1-4094)   Enabled  Disabled Apply

---

**MLD Snooping Table**

Total Entries: 2

VID	VLAN Name	Status	Querier Status	Fast Leave
1	VLAN0001	Disabled	Disabled	Disabled
2	VLAN0002	Disabled	Disabled	Disabled

1/1 < > 1 < >  Go

## 2-6-34 MLD Snooping Groups Settings (MLD Snooping グループ設定)

「L2Features」 → 「L2 Multicast Control」 → 「MLD Snooping」 → 「MLD Snooping Groups Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### MLD Snooping Static Groups Settings

「VID」：登録または削除するグループのVLAN IDを入力します。

「Group Address」：登録または削除するグループのIPアドレスを入力します。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete」をクリックすると設定を削除します。

**MLD Snooping Groups Settings**

MLD Snooping Static Groups Settings

VID (1-4094)  Group Address  From Port  To Port

Total Entries: 0

VID	Groups Address	Ports

MLD Snooping Groups Table

Total Entries: 0

VID	Groups Address	Source Address	FM	Exp(sec)	Ports

## 2-6-35 Multicast Filtering (マルチキャストフィルタリング)

「L2Features」 → 「L2 Multicast Control」 → 「Multicast Filtering」の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Multicast Filtering Mode」:マルチキャストフィルタリングのモードを選択します。

•選択肢「Forward Unregistered」「Filter Unregistered」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



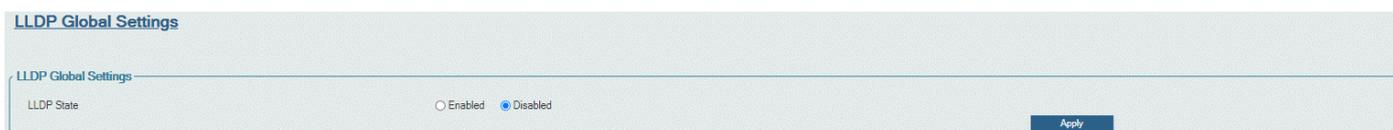
The screenshot shows the 'Multicast Filtering' configuration page. At the top, there is a breadcrumb trail: 'Multicast Filtering' > 'Multicast Filtering'. Below this, the 'Multicast Filtering Mode' is set to 'Forward Unregistered' (indicated by a selected radio button), with 'Filter Unregistered' as an alternative option. An 'Apply' button is located in the bottom right corner.

## 2-6-36 LLDP Global Settings (LLDP グローバル設定)

「L2Features」 → 「LLDP」 → 「LLDP Global Settings」の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「LLDP State」:「Enabled」(有効)または「Disabled」(無効)を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



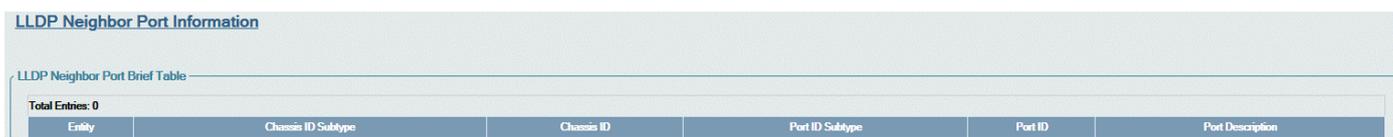
The screenshot shows the 'LLDP Global Settings' configuration page. At the top, there is a breadcrumb trail: 'LLDP Global Settings' > 'LLDP Global Settings'. Below this, the 'LLDP State' is set to 'Disabled' (indicated by a selected radio button), with 'Enabled' as an alternative option. An 'Apply' button is located in the bottom right corner.

## 2-6-37 LLDP Neighbor Port Information (LLDP 受信ポート情報)

「L2Features」 → 「LLDP」 → 「LLDP Neighbor Port Information」の順にクリックします。

LLDP Neighbor Port Brief Table

隣接機器から受信したポート情報が表示されます。



The screenshot shows the 'LLDP Neighbor Port Information' page. At the top, there is a breadcrumb trail: 'LLDP Neighbor Port Information' > 'LLDP Neighbor Port Brief Table'. Below this, the 'Total Entries' is 0. A table with the following columns is displayed: Entity, Chassis ID Subtype, Chassis ID, Port ID Subtype, Port ID, and Port Description.

Entity	Chassis ID Subtype	Chassis ID	Port ID Subtype	Port ID	Port Description
Total Entries: 0					

## QOS (QOS 機能の設定)

### 2-7-1 802.1p Priority Settings (802.1p 優先制御)

「Qos」 → 「802.1p Priority」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

#### Port Scheduler Method

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Scheduler Method」:スケジューリング設定を選択します。

- 選択肢: 「SP」 「WRR」

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

#### Port Default CoS

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Default CoS」:デフォルトCosを選択します。

- 選択肢: 「Low」 「Medium」 「High」 「Highest」

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

#### 802.1p Priority Settings

##### Port Scheduler Method

From Port eth1/0/1	To Port eth1/0/1	Scheduler Method WRR	WRR: Low:Medium:High:Highest=1:2:4:8	Apply
-----------------------	---------------------	-------------------------	--------------------------------------	-------

##### Port Default CoS

From Port eth1/0/1	To Port eth1/0/1	Default CoS Low	Apply
-----------------------	---------------------	--------------------	-------

##### 802.1p Priority Table

Class	Class 0 (Low queue)	Class 1 (Middle queue)	Class 2 (High queue)	Class 3 (Highest queue)
802.1p priority	1.2	0.3	4.5	6.7

Port	Scheduler Method	Default
eth1/0/1	WRR	Middle
eth1/0/2	WRR	Middle
eth1/0/3	WRR	Middle
eth1/0/4	WRR	Middle
eth1/0/5	WRR	Middle
eth1/0/6	WRR	Middle
eth1/0/7	WRR	Middle
eth1/0/8	WRR	Middle
eth1/0/9	WRR	Middle
eth1/0/10	WRR	Middle
eth1/0/11	WRR	Middle
eth1/0/12	WRR	Middle

## 2-7-2 Port Rate Limiting (ポート転送速度制限)

「Qos」 → 「Port Rate Limiting」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Rate Limit(Granularity is 100 Kbps)」:レート制限の値を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**Port Rate Limiting**

Port Rate Limiting

From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1 Direction: Input Rate Limit (Granularity is 100 Kbps): 100-1048576 Kbps

Note: The input value of rate limit will auto round up to next possible value base on 100 Kbps.

Apply

Port	Input (Rate)
eth1/0/1	No Limit
eth1/0/2	No Limit
eth1/0/3	No Limit
eth1/0/4	No Limit
eth1/0/5	No Limit
eth1/0/6	No Limit
eth1/0/7	No Limit
eth1/0/8	No Limit
eth1/0/9	No Limit
eth1/0/10	No Limit
eth1/0/11	No Limit
eth1/0/12	No Limit

## 2-7-3 Port Trust State (ポートの信頼性)

「Qos」 → 「Port Trust State」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Trust State」:入力パケットの分類方法を選択します。

- 選択肢: 「CoS」 「DSCP」

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**Port Trust State**

Port Trust State

From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1 Trust State: CoS

Apply

Port	Trust State
eth1/0/1	Trust CoS
eth1/0/2	Trust CoS
eth1/0/3	Trust CoS
eth1/0/4	Trust CoS
eth1/0/5	Trust CoS
eth1/0/6	Trust CoS
eth1/0/7	Trust CoS
eth1/0/8	Trust CoS
eth1/0/9	Trust CoS
eth1/0/10	Trust CoS
eth1/0/11	Trust CoS
eth1/0/12	Trust CoS

## 2-7-4 DSCP CoS Mapping (DSCP CoS マッピング)

「Qos」 → 「DSCP CoS Mapping」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「CoS」 :CoS値を入力します。

「DSCP List(0-63)」 :DSCPリスト範囲を入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

**DSCP CoS Mapping**

DSCP CoS Mapping

CoS  DSCP List (0-63)

[Apply](#)

CoS	DSCP List
0	0-7
1	8-15
2	16-23
3	24-31
4	32-39
5	40-47
6	48-55
7	56-63

## Security (セキュリティ機能の設定)

### 2-8-1 Port Security Port Settings (ポートセキュリティ設定)

「Security」 → 「Port Security」 → 「Port Security Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「State」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Maximum(0-64)」:記録可能な最大MACアドレス数を入力します。

「Violation Action」:最大MACアドレス数超過時のアクションを選択します。

- 選択肢:「Protect」「Restrict」「Shutdown」

「Aging Time(0-1440)」:エイジングタイムを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**Port Security Port Settings**

Port Security Port Settings

From Port: eth1/0/1    To Port: eth1/0/1    State: Disabled    Maximum (0-64): 32    Violation Action: Protect    Aging Time (0-1440):

**Apply**

Port	Maximum	Current No.	Violation Action	Violation Count	Admin State	Current State	Aging Time
eth1/0/1	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/2	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/3	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/4	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/5	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/6	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/7	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/8	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/9	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/10	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/11	32	0	Protect	-	Disabled	-	0
eth1/0/12	32	0	Protect	-	Disabled	-	0

## 2-8-2 Port Security Address Entries (ポートセキュリティアドレスエントリー)

「Security」 → 「Port Security」 → 「Port Security Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」:設定対象のポートを選択します。

「MAC Address」:対象のMACアドレスを選択します。

※ 「Clear by Port」 をクリックするとポートをクリアします。

※ 「Clear by MAC」 をクリックするとMACアドレスをクリアします。

※ 「Clear ALL」 をクリックするとポートおよびMACアドレスをクリアします。



## 2-8-3 802.1X Global Settings (802.1X グローバル設定)

「Security」 → 「802.1X」 → 「802.1X Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「802.1X State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Authentication Method」: 認証方式を選択します。

- 選択肢: 「Local User」 「RADIUS」

「Forward PDU」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Re-authenticate」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Re-authenticate Period(1-3600)」: 再認証時間を入力します。

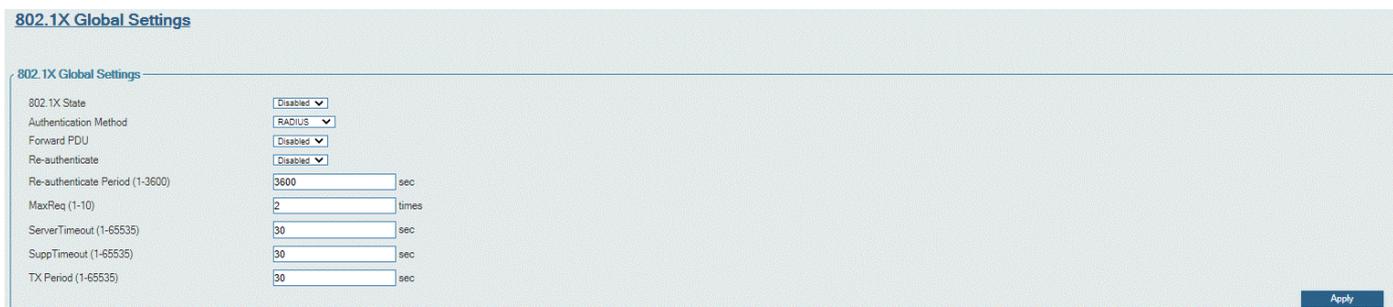
「MaxReq(1-10)」: 最大リクエスト数を入力します。

「ServerTimeout(1-65535)」: サーバertimeアウト時間を入力します。

「SuppTimeout(1-65535)」: Suppタイムアウト時間を入力します。

「TX Period(1-65535)」: 再送間隔を入力します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



## 2-8-4 802.1X Port Settings (802.1X ポート設定)

「Security」 → 「802.1X」 → 「802.1X Port Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

「Port Control」:ポートコントロールを選択します。

- 選択肢: 「ForceAuthorized」 「Auto」 「ForceUnauthorized」

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

**802.1X Port Settings**

802.1X Port Settings

From Port:  To Port:  Port Control:

Port	Port Control
eth1/0/1	Force Authorized
eth1/0/2	Force Authorized
eth1/0/3	Force Authorized
eth1/0/4	Force Authorized
eth1/0/5	Force Authorized
eth1/0/6	Force Authorized
eth1/0/7	Force Authorized
eth1/0/8	Force Authorized
eth1/0/9	Force Authorized
eth1/0/10	Force Authorized
eth1/0/11	Force Authorized
eth1/0/12	Force Authorized

## 2-8-5 802.1X Local-user (802.1X ローカルユーザー)

「Security」 → 「802.1X」 → 「802.1X Local-user」の順にクリックします。

「Username」:ユーザー名を入力します。

「Password」:パスワードを入力します。

※ 「Add」 をクリックすると設定が追加されます。

※ 「Delete ALL」 をクリックすると設定が全て削除されます。

**Local-user**

Local-user

Username:  Password:

Total Entries: 0

Username	Password	Delete ALL
----------	----------	------------

## 2-8-6 Authentication Sessions Information (再認証セッション情報)

「Security」 → 「802.1X」 → 「Authentication Sessions Information」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

※ 「Init by Port」 をクリックするとポート別再認証を行います。

※ 「ReAuth by Port」 をクリックするとポート別再認証を行います。



The screenshot shows the 'Authentication Sessions Information' configuration page. It features two dropdown menus for 'From Port' and 'To Port', both currently set to 'eth1/0/1'. On the right side, there are two buttons: 'Init by Port' and 'ReAuth by Port'.

## 2-8-7 Authenticator Statistics (オーセンティケータ統計情報)

「Security」 → 「802.1X」 → 「Authenticator Statistics」 の順にクリックします。

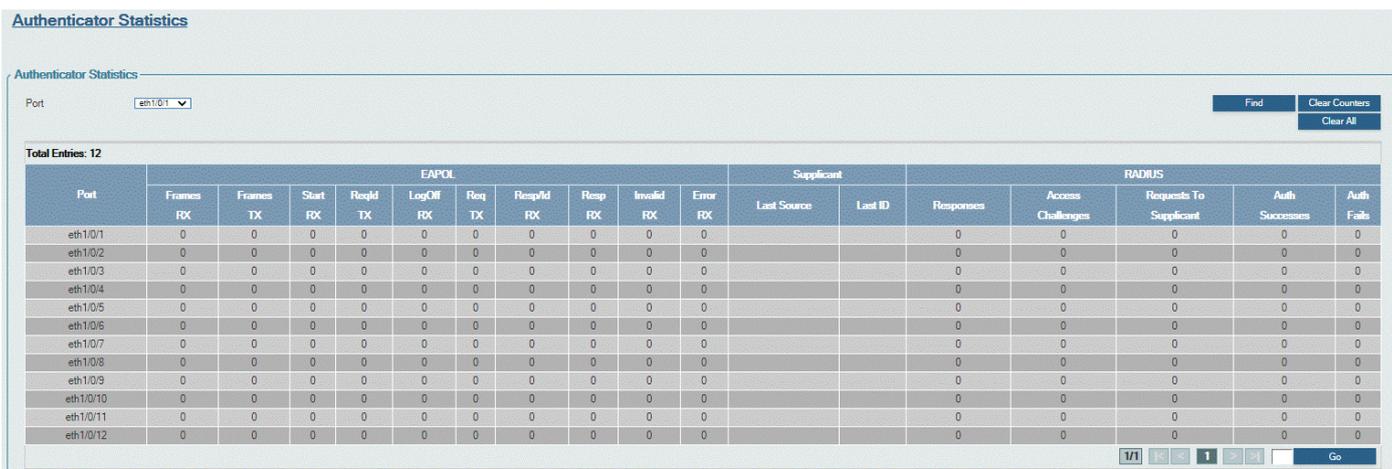
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

※ 「Find」 をクリックすると選択したポート範囲の情報を表示します。

※ 「Clear Counters」 をクリックするとカウンターをクリアします。

※ 「Clear ALL」 をクリックすると全ての情報をクリアします。



The screenshot shows the 'Authenticator Statistics' page. At the top, there is a 'Port' dropdown menu set to 'eth1/0/1'. On the right, there are three buttons: 'Find', 'Clear Counters', and 'Clear All'. Below the buttons, a table displays statistics for 12 ports. The table is organized into three main sections: EAPOL, Supplicant, and RADIUS. Each section has its own set of columns. The 'EAPOL' section includes Frames RX/TX, Start RX/TX, RespId RX/TX, LogOff RX/TX, Req RX/TX, RespId RX/TX, Resp RX/TX, Invalid RX/TX, and Error RX/TX. The 'Supplicant' section includes Last Source and Last ID. The 'RADIUS' section includes Responses, Access Challenges, Requests To Supplicant, Auth Successes, and Auth Fails. All values in the table are currently 0. At the bottom right of the table, there is a pagination control showing '1/1' and a 'Go' button.

Port	EAPOL										Supplicant		RADIUS				
	Frames RX	Frames TX	Start RX	RespId TX	LogOff RX	Req TX	RespId RX	Resp RX	Invalid RX	Error RX	Last Source	Last ID	Responses	Access Challenges	Requests To Supplicant	Auth Successes	Auth Fails
eth1/0/1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0
eth1/0/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	0

## 2-8-8 RADIUS Global Settings (RADIUS グローバル設定)

「Security」 → 「RADIUS」 → 「RADIUS Global Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「DeadTime(0-1440)」:デッドタイムを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'RADIUS Global Settings' configuration page. It features a single input field for 'DeadTime (0-1440)' with a value of '0' and a unit of 'min'. An 'Apply' button is located in the bottom right corner.

## 2-8-9 RADIUS Server Settings (RADIUS サーバ設定)

「Security」 → 「RADIUS」 → 「RADIUS Server Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「IP Address」:チェックを入れ、RADIUSサーバのIPv4アドレスを入力します。

「IPv6 Address」:チェックを入れ、RADIUSサーバのIPv6アドレスを入力します。

「Authentication Port(0-65535)」:RADIUS認証サーバのUDPポートを入力します。

「Retransmit(0-20)」:再転送間隔を入力します。

「Timeout(1-255)」:タイムアウト時間を入力します。

「Key」:RADIUSサーバに設定したものと同一の鍵を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'RADIUS Server Settings' configuration page. It includes several input fields: 'IP Address' (checked), 'Authentication Port (0-65535)' (1812), 'Retransmit (0-20)' (3 times), 'IPv6 Address' (unchecked), 'Accounting Port (0-65535)' (1813), 'Timeout (1-255)' (5 sec), and 'Key' (52 chars). A 'Total Entries: 0' indicator is present at the bottom left. An 'Apply' button is in the bottom right.

## 2-8-10 RADIUS Statistic Settings (RADIUS 統計情報設定)

「Security」 → 「RADIUS」 → 「RADIUS Server Settings」の順にクリックします。

RADIUS統計情報が表示されます。

※「Clear ALL」をクリックすると全ての情報をクリアします。

※「Clear」をクリックすると情報をクリアします。



The screenshot shows the 'RADIUS Statistic' configuration page. It features a 'RADIUS Server Statistic' section with a 'Clear All' button. Below it is a table with columns for 'RADIUS Server Address', 'Authentication Port', 'Accounting Port', and 'Stats'. A 'Clear' button is located at the bottom right of the table.

## 2-8-11 Web Authentication (Web 認証)

「Security」 → 「Web-based Access Control」 → 「Web Authentication」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Web Authentication State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

「Virtual IPv4」：仮想IPv4アドレスを入力します。

「Virtual IPv6」：仮想IPv6アドレスを入力します。

「Redirection Path」：リダイレクションパスを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**Web Authentication**

Web Authentication

Web Authentication State  Enabled  Disabled Apply

Virtual IPv4  Virtual IPv6  Apply

Redirection Path

## 2-8-12 WAC Port Settings (WAC ポート設定)

「Security」 → 「Web-based Access Control」 → 「WAC Port Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**WAC Port Settings**

WAC Port Settings

From Port  To Port  State  Apply

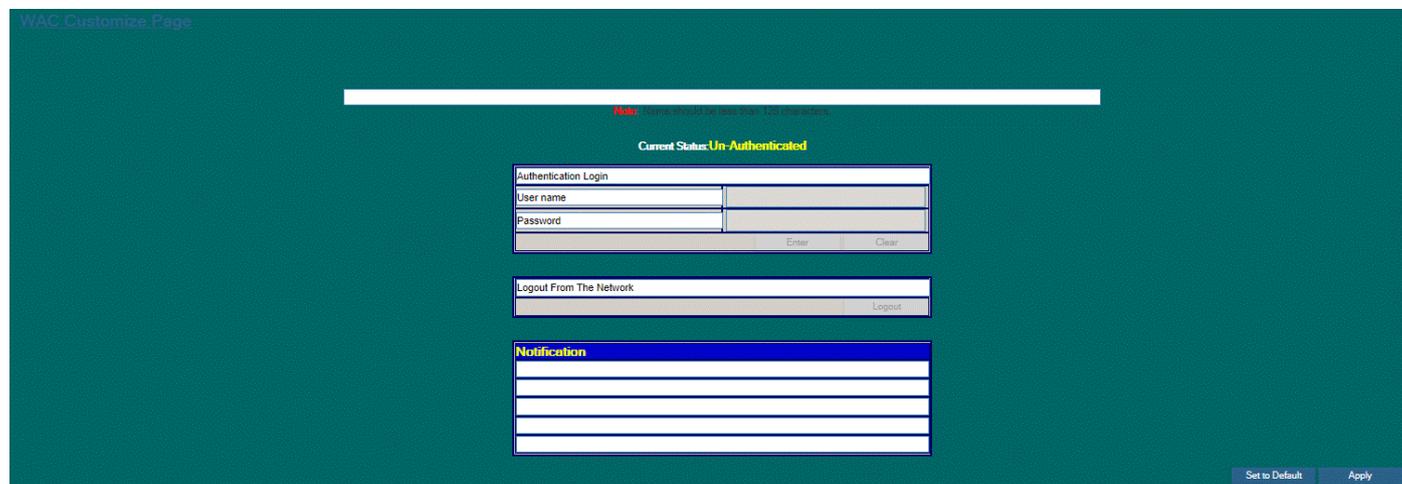
Port	State
eth1/0/1	Disabled
eth1/0/2	Disabled
eth1/0/3	Disabled
eth1/0/4	Disabled
eth1/0/5	Disabled
eth1/0/6	Disabled
eth1/0/7	Disabled
eth1/0/8	Disabled
eth1/0/9	Disabled
eth1/0/10	Disabled
eth1/0/11	Disabled
eth1/0/12	Disabled

## 2-8-13 WAC Customize Page (WAC カスタマイズページ)

「Security」 → 「Web-based Access Control」 → 「WAC Customize Page」の順にクリックします。

WAC ページの設定を行うためにはこの画面のWAC認証情報をすべて入力し、「Apply」ボタンをクリックして行った変更を適用します。

※ 「Set to default」ボタンをクリックすると全項目を初期設定に復元します。



## 2-8-14 Traffic Segmentation Settings (トラフィックセグメンテーション設定)

「Security」 → 「Traffic Segmentation」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

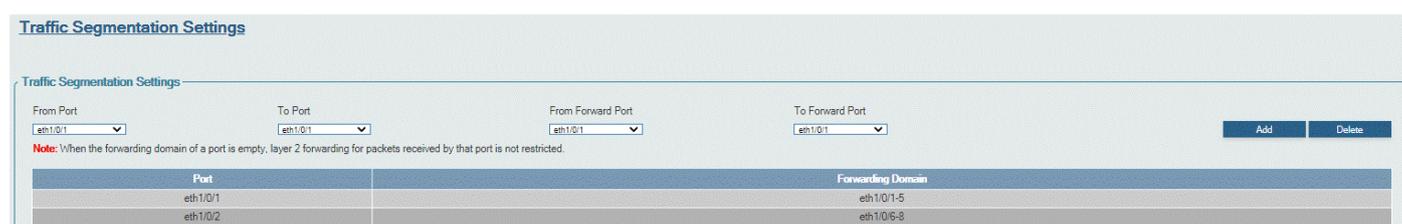
### Traffic Segmentation Settings

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「From Forward Port/To Forward Port」：設定対象のフォワードポート範囲を選択します。

※ 「Add」をクリックすると設定が追加されます。

※ 「Delete」をクリックすると設定が削除されます。



## 2-8-15 Storm Control Settings (ストームコントロール設定)

「Security」 → 「Storm Control」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Type」:制限するストームの種類を選択します。

選択肢:「Broadcast」「Multicast」「Unicast」

「Status」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「PPS Rise(1-1024000,Auto apply to next bigger valid value)」: 制限するデータレートを入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**Storm Control Settings**

Storm Control Settings

Type:  Status:  PPS Rise (1-1024000, Auto apply to next bigger valid value):  pps

Note: PPS valid value are - 1, 2, 4, 8, 16, 32, 64, 128, 256, 512, 1K, 2K, 4K, 8K, 16K, 32K, 64K, 128K, 256K, 512K or 1024K.

Storm	Status	Threshold
Unicast	Disabled	1
Multicast	Disabled	1
Broadcast	Disabled	1

## 2-8-16 Dos Attack Prevention Settings (Dos 攻撃防止設定)

「Security」 → 「Dos Attack Prevention Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「DoS Type Selection」:Dos攻撃防止タイプにチェックを入れます。

「Status」:「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Action」:Dos攻撃防止により行われるアクションを選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**DoS Attack Prevention Settings**

DoS Type Selection

Land Attack
  Blat Attack
  TCP Null Scan
  TCP Xmascan

TCP SYN-FIN
  TCP SYN Src Port Less 1024
  Ping Death Attack

All Types

DoS Settings

State:  Action:

DoS Type	State	Action
Land Attack	Disabled	Drop
Blat Attack	Disabled	Drop
TCP Null Scan	Disabled	Drop
TCP Xmascan	Disabled	Drop
TCP SYN-FIN	Disabled	Drop
TCP SYN Src Port Less 1024	Disabled	Drop
Ping Death Attack	Disabled	Drop

## 2-8-17 SSH Global Settings (SSH グローバル設定)

「Security」 → 「SSH」 → 「SSH Global Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「IP SSH Server State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「SSH Server Mode」: V2固定

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'SSH Global Settings' configuration page. It includes a title bar 'SSH Global Settings' and a main content area with two settings: 'IP SSH Server State' set to 'Disabled' and 'SSH Server Mode' set to 'V2'. An 'Apply' button is located in the bottom right corner.

## 2-8-18 SSL Global Settings (SSL グローバル設定)

「Security」 → 「SSL」 → 「Global Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

SSL Global Settings

「SSL State」: 「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

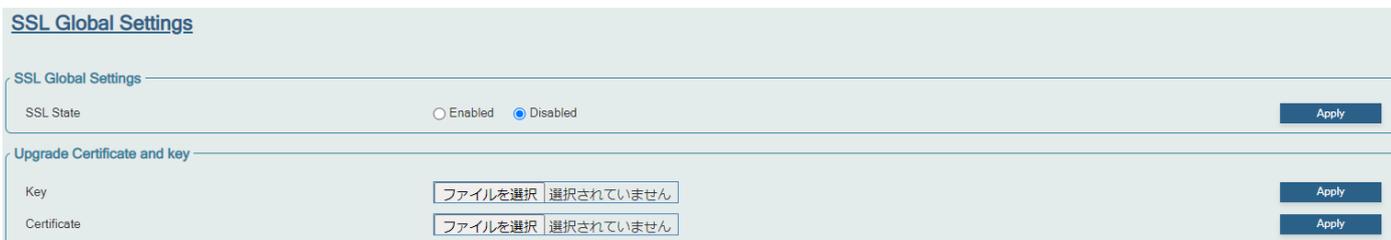
Upgrade Certificate and key

「Key」: ファイルを選択します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

「Certificate」: ファイルを選択します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'SSL Global Settings' configuration page. It is divided into two sections. The first section, 'SSL Global Settings', has 'SSL State' set to 'Disabled' (radio button selected) and an 'Apply' button. The second section, 'Upgrade Certificate and key', has 'Key' and 'Certificate' fields, each with a 'ファイルを選択' (Select File) button and a '選択されていません' (Not selected) status. Each field has its own 'Apply' button.

## OAM (OAM 機能の設定)

### 2-9-1 Cable Diagnostics (ケーブル診断機能)

「OAM」 → 「Cable Diagnostics」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」:設定対象のポート範囲を選択します。

※ 「Test」 をクリックするとテストが開始されます。

※ 「Clear ALL」 をクリックするとテスト結果が全てクリアされます。

※ 「Clear」 をクリックするとテスト結果がクリアされます。

**Cable Diagnostics**

Cable Diagnostics

From Port:  To Port:

Port	Type	Link Status	Test Result	Cable Length (M)	
eth1/0/1	1000BaseT	Link Down	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/2	1000BaseT	Link Up	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/3	1000BaseT	Link Up	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/4	1000BaseT	Link Down	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/5	1000BaseT	Link Up	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/6	1000BaseT	Link Down	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/7	1000BaseT	Link Down	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/8	1000BaseT	Link Down	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/9	1000BaseT	Link Down	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/10	1000BaseT	Link Down	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/11	None	Link Down	-	-	<input type="button" value="Clear"/>
eth1/0/12	None	Link Down	-	-	<input type="button" value="Clear"/>

## 2-9-2 DDM Settings (DDM 設定)

「OAM」 → 「DDM」 → 「DDM Settings」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### DDM Global Settings

「Transceiver Monitoring Traps Alarm」: 「Enabled」 または 「Disabled」 を選択します。

「Transceiver Monitoring Traps Warning」: 「Enabled」 または 「Disabled」 を選択します。

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

### DDM Shutdown Settings

「From Port/To Port」: 設定対象のポート範囲を選択します。

「State」: 「Enabled」 または 「Disabled」 を選択します。

「Shutdown」: ポートをシャットダウンする基準を選択します。

- 選択肢: 「Alarm」 「Warning」 「None」

※ 「Apply」 をクリックすると設定が更新されます。

### DDM Settings

#### DDM Global Settings

Transceiver Monitoring Traps Alarm  Disabled  Enabled

Transceiver Monitoring Traps Warning  Disabled  Enabled

[Apply](#)

#### DDM Shutdown Settings

From Port:  To Port:  State:  Shutdown:

[Apply](#)

Port	State	Shutdown
eth1/0/11	Disabled	None
eth1/0/12	Disabled	None

### 2-9-3 DDM Temperature Threshold Settings (DDM 温度しきい値設定)

「OAM」 → 「DDM」 → 「DDM Temperature Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：設定対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Value(-128-127.996)」：温度の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**DDM Temperature Threshold Settings**

DDM Temperature Threshold Settings

Port:  Action:  Type:  Value (-128-127.996):  Celsius

Port	Current	High Alarm (Celsius)	High Warning (Celsius)	Low Warning (Celsius)	Low Alarm (Celsius)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

**Note:** ++: high alarm, +: high warning, -: low warning, --: low alarm  
A: The threshold is administratively configured.

### 2-9-4 DDM Voltage Threshold Settings (DDM 電圧しきい値設定)

「OAM」 → 「DDM」 → 「DDM Voltage Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Value(0-6,55)」：電圧の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

**DDM Voltage Threshold Settings**

DDM Voltage Threshold Settings

Port:  Action:  Type:  Value (0-6,55):  V

Port	Current	High Alarm (V)	High Warning (V)	Low Warning (V)	Low Alarm (V)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

**Note:** ++: high alarm, +: high warning, -: low warning, --: low alarm  
A: The threshold is administratively configured.

## 2-9-5 DDM Bias Current Threshold Settings (DDM 電流しきい値設定)

「OAM」 → 「DDM」 → 「DDM Bias Current Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：設定対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Value(0-131)」：電流の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### DDM Bias Current Threshold Settings

DDM Bias Current Threshold Settings

Port	Action	Type	Value (0-131)	
<input type="text" value="eth1/0/1"/>	<input type="text" value="Add"/>	<input type="text" value="Low Alarm"/>	<input type="text" value=""/> mA	<input type="button" value="Apply"/>

Port	Current	High Alarm (mA)	High Warning (mA)	Low Warning (mA)	Low Alarm (mA)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

**Note:** ++ : high alarm, + : high warning, - : low warning, -- : low alarm  
 A: The threshold is administratively configured.

## 2-9-6 DDM TX Power Threshold Settings (DDM 送信電力しきい値設定)

「OAM」 → 「DDM」 → 「DDM TX Power Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：設定対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Power Unit」：単位を選択します。

- 選択肢：「mW」「dBm」

「Value(0-6,5535)」：送信電力の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### DDM TX Power Threshold Settings

DDM TX Power Threshold Settings

Port	Action	Type	Power Unit	Value (0-6.5535)	
<input type="text" value="eth1/0/1"/>	<input type="text" value="Add"/>	<input type="text" value="Low Alarm"/>	<input type="text" value="mW"/>	<input type="text" value=""/> mW	<input type="button" value="Apply"/>

Port	Current	High Alarm (mW)	High Warning (mW)	Low Warning (mW)	Low Alarm (mW)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

**Note:** ++ : high alarm, + : high warning, - : low warning, -- : low alarm  
 A: The threshold is administratively configured.

## 2-9-7 DDM RX Power Threshold Settings (DDM 受信電力しきい値設定)

「OAM」 → 「DDM」 → 「DDM TX Power Threshold Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Port」：設定対象のポートを選択します。

「Action」：アクションを選択します。

- 選択肢：「Add」「Delete」

「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Low Alarm」「Low Warning」「High Alarm」「High Warning」

「Power Unit」：単位を選択します。

- 選択肢：「mW」「dBm」

「Value(0-6,5535)」：受信電力の上限または下限を入力します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

### DDM RX Power Threshold Settings

#### DDM RX Power Threshold Settings

Port	Action	Type	Power Unit	Value (0-6.5535)	
eth1/0/1	Add	Low Alarm	mW		Apply

Port	Current	High Alarm (mW)	High Warning (mW)	Low Warning (mW)	Low Alarm (mW)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

**Note:** ++: high alarm, +: high warning, -: low warning, --: low alarm  
A: The threshold is administratively configured.

## 2-9-8 DDM Status Table (DDM ステータステーブル)

「OAM」 → 「DDM」 → 「DDM Status Table」の順にクリックします。

SFPモジュールで現在操作中のDDMパラメータ値を表示します。

### DDM Status Table

#### DDM Status Table

Total Entries: 2

Port	Temperature (Celsius)	Voltage (V)	Bias Current (mA)	TX Power (mW)	RX Power (mW)
eth1/0/11	-	-	-	-	-
eth1/0/12	-	-	-	-	-

**Note:** ++: high alarm, +: high warning, -: low warning, --: low alarm

## Monitoring (モニタリング機能の設定)

### 2-10-1 Port Counters (ポートカウンタ)

「Monitoring」 → 「Statistics」 → 「Port Counters」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」：対象のポート範囲を選択します。

「Find」・「Refresh」・「Clear」・「Clear ALL」のいずれかをクリックします。

- ・ 「Find」：選択したポート範囲の情報を表示します。
- ・ 「Refresh」：ポートカウンタ統計テーブルを更新します。
- ・ 「Clear」：選択したポートカウンタ統計テーブルを消去します。
- ・ 「Clear ALL」：ポートカウンタ統計テーブルを全て消去します。

**Port Counters**

From Port: eth1/0/1 To Port: eth1/0/1

Find Refresh  
Clear Clear All

Port	TxOK	TxErr	RxOK	RxErr
eth1/0/1	20157	0	136287	0
eth1/0/2	0	0	0	0
eth1/0/3	0	0	0	0
eth1/0/4	0	0	0	0
eth1/0/5	0	0	0	0
eth1/0/6	0	0	0	0
eth1/0/7	0	0	0	0
eth1/0/8	0	0	0	0
eth1/0/9	0	0	0	0
eth1/0/10	0	0	0	0
eth1/0/11	0	0	0	0
eth1/0/12	0	0	0	0

## 2-10-2 Mirror Settings (ミラーリング設定)

「Monitoring」 → 「Mirror Settings」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

### Mirror Settings

#### Destination

「Port」：ミラーリング先ポート選択します。

#### Source

「From Port/To Port」：送信元ポート範囲を選択します。

「Frame Type」：フレームタイプを選択します。

※ 「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※ 「Delete」をクリックすると設定が消去されます。

### Mirror Session Table

ミラーリングの設定内容が表示されます。

**Mirror Settings**

---

**Mirror Settings**

Destination	<input type="checkbox"/> eth1/0/1 Port	<input type="checkbox"/> eth1/0/1 From Port	<input type="checkbox"/> eth1/0/1 To Port	<input type="checkbox"/> RX Frame Type
Source	<input type="checkbox"/> eth1/0/1 Port	<input type="checkbox"/> eth1/0/1 From Port	<input type="checkbox"/> eth1/0/1 To Port	<input type="checkbox"/> RX Frame Type

---

**Mirror Session Table**

	Source Ports		Destination port
	Both	RX TX	

## Green（省電力テクノロジー）

### 2-11-1 Power Saving（節電設定）

「Green」 → 「Power Saving」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

#### Power Saving Global Settings

「Function Version」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Link Detection Power Saving」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Scheduled Port-shutdown Power Saving」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Scheduled Hibernation Power Saving」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

「Scheduled Dim-LED Power Saving」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

#### Administrative Dim-LED

「Administrative Dim-LED」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

#### Time Profile Settings

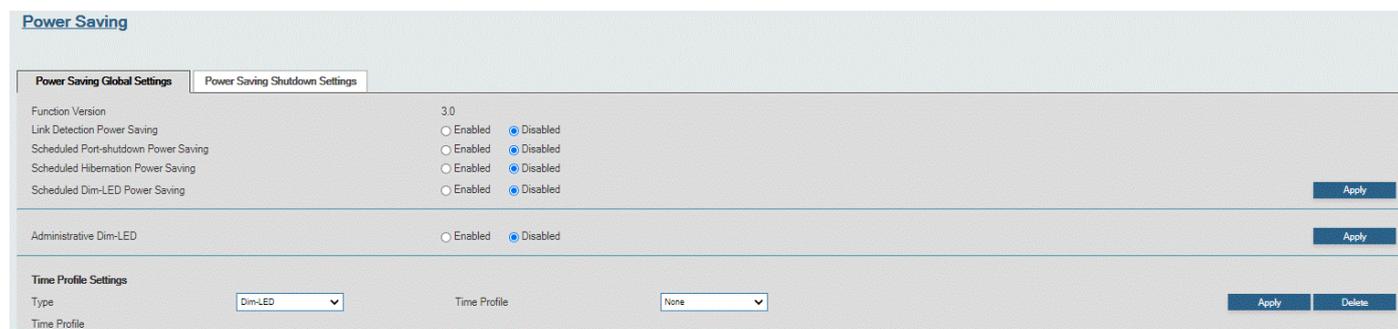
「Type」：タイプを選択します。

- 選択肢：「Dim-LED」「Hibernation」

「Time Profile」：「None」固定

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete」をクリックすると設定が消去されます。



**Power Saving**

**Power Saving Global Settings** | Power Saving Shutdown Settings

Function Version: 3.0

Link Detection Power Saving:  Enabled  Disabled

Scheduled Port-shutdown Power Saving:  Enabled  Disabled

Scheduled Hibernation Power Saving:  Enabled  Disabled

Scheduled Dim-LED Power Saving:  Enabled  Disabled

Administrative Dim-LED:  Enabled  Disabled

**Time Profile Settings**

Type: Dim-LED (dropdown) | Time Profile: None (dropdown)

Buttons: Apply, Delete

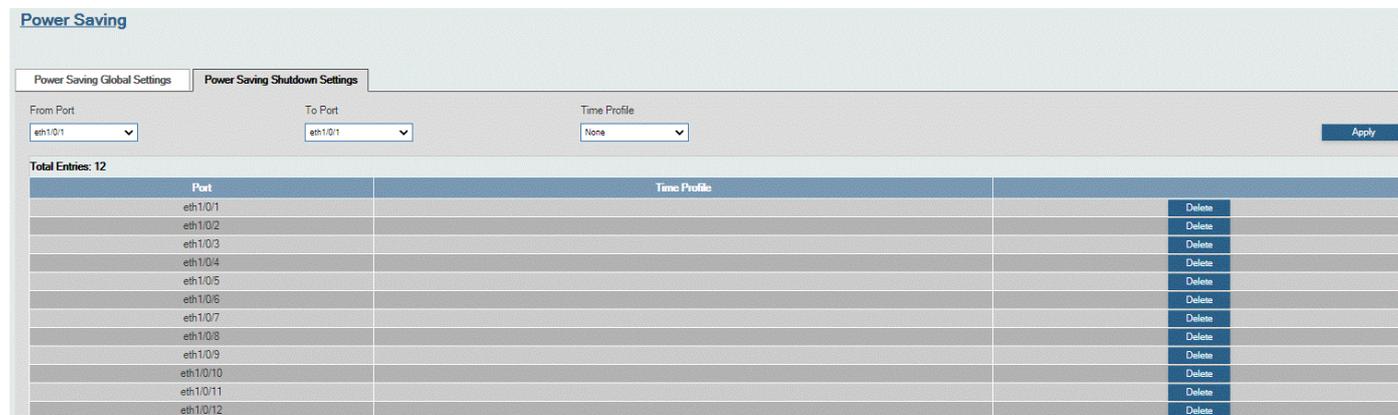
## Power Saving Shutdown Settings

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「Time Profile」：「None」固定

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。

※「Delete」をクリックすると設定が消去されます。



The screenshot shows the 'Power Saving Shutdown Settings' configuration page. It includes two tabs: 'Power Saving Global Settings' and 'Power Saving Shutdown Settings'. Under the active tab, there are three dropdown menus: 'From Port' (set to eth1/0/1), 'To Port' (set to eth1/0/1), and 'Time Profile' (set to None). An 'Apply' button is located to the right of these settings. Below the settings is a table with 12 entries, each representing a port and its corresponding time profile. Each row has a 'Delete' button.

Port	Time Profile	Delete
eth1/0/1		Delete
eth1/0/2		Delete
eth1/0/3		Delete
eth1/0/4		Delete
eth1/0/5		Delete
eth1/0/6		Delete
eth1/0/7		Delete
eth1/0/8		Delete
eth1/0/9		Delete
eth1/0/10		Delete
eth1/0/11		Delete
eth1/0/12		Delete

## 2-11-2 EEE (省電力イーサネット)

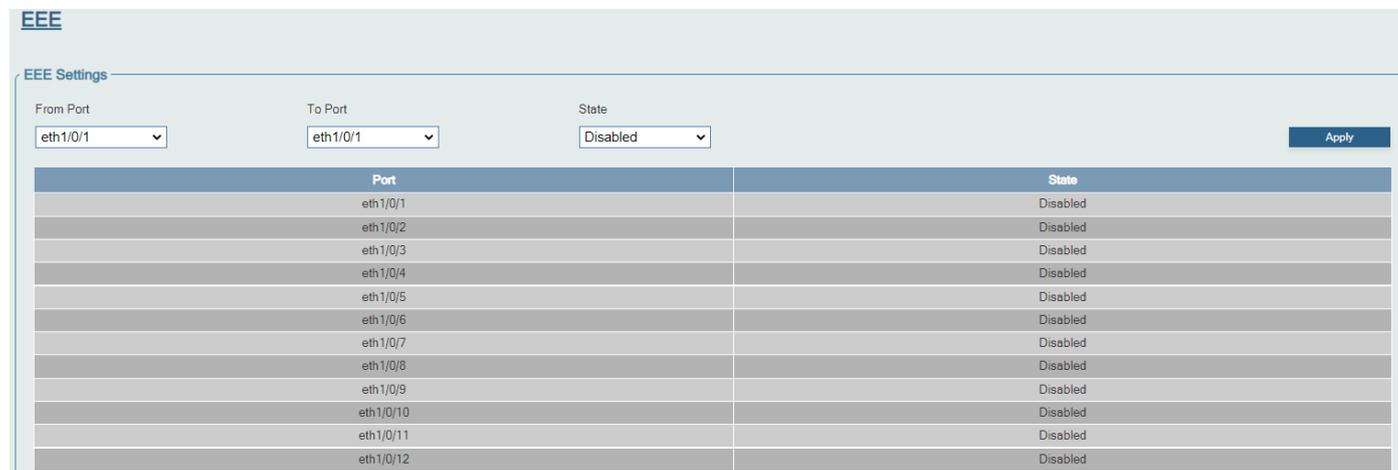
「Green」 → 「EEE」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「From Port/To Port」：設定対象のポート範囲を選択します。

「State」：「Enabled」または「Disabled」を選択します。

※「Apply」をクリックすると設定が更新されます。



The screenshot shows the 'EEE Settings' configuration page. It includes two tabs: 'Green' and 'EEE'. Under the active 'EEE' tab, there are three dropdown menus: 'From Port' (set to eth1/0/1), 'To Port' (set to eth1/0/1), and 'State' (set to Disabled). An 'Apply' button is located to the right of these settings. Below the settings is a table with 12 entries, each representing a port and its corresponding state. Each row has a 'Delete' button.

Port	State	Delete
eth1/0/1	Disabled	Delete
eth1/0/2	Disabled	Delete
eth1/0/3	Disabled	Delete
eth1/0/4	Disabled	Delete
eth1/0/5	Disabled	Delete
eth1/0/6	Disabled	Delete
eth1/0/7	Disabled	Delete
eth1/0/8	Disabled	Delete
eth1/0/9	Disabled	Delete
eth1/0/10	Disabled	Delete
eth1/0/11	Disabled	Delete
eth1/0/12	Disabled	Delete

## Tools (Tools メニュー)

### 2-12-1 Firmware Information (ファームウェア情報)

「Tool」 → 「Firmware Information」 の順にクリックします。

ファームウェア情報が表示されます。

※ 「Boot UP」 をクリックすると起動します。

**Firmware Information**

Firmware Information

Image ID	Version	Size (B)	Update Time	
*1c	1.00.04	5396953	Sep 30 2021 03:07:57	Boot UP
2	1.00.04	5396953	Sep 30 2021 03:15:57	Boot UP

c: Current boot up firmware  
\*: Boot up firmware

### 2-12-2 Firmware Upgrade from HTTP (HTTP を使用したファームウェア更新)

「Tool」 → 「Firmware Upgrade/Backup」 → 「Firmware Upgrade from HTTP」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Source File」 : ソースファイルを選択します。

※ 「Upgrade」 をクリックするとファームウェア更新が始まります。

**Firmware Upgrade from HTTP**

Source File

Destination

**Upgrade**

### 2-12-3 Firmware Upgrade from TFTP (TFTP サーバを使用したファームウェア更新)

「Tool」 → 「Firmware Upgrade/Backup」 → 「Firmware Upgrade from TFTP」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「TFTP Server IP」 : TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Source File」 : ファイル名を入力します。

※ 「Upgrade」 をクリックするとファームウェア更新が始まります。

**Firmware Upgrade from TFTP**

TFTP Server IP

Source File

Destination

**Upgrade**

#### 2-12-4 Firmware Backup to HTTP (HTTP を使用したファームウェアバックアップ)

「Tool」 → 「Firmware Upgrade/Backup」 → 「Firmware Backup to HTTP」 の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います

「Source」 : ソースを選択します。

※ 「Backup」 をクリックするとバックアップが始まります。



The screenshot shows a web interface titled "Firmware Backup to HTTP". On the left, there is a label "Source". To its right is a dropdown menu with "Image1" selected. On the far right, there is a blue button labeled "Backup".

#### 2-12-5 Firmware Backup to TFTP (TFTP サーバを使用したファームウェアバックアップ)

「Tool」 → 「Firmware Upgrade/Backup」 → 「Firmware Backup to TFTP」 の順にクリックします。

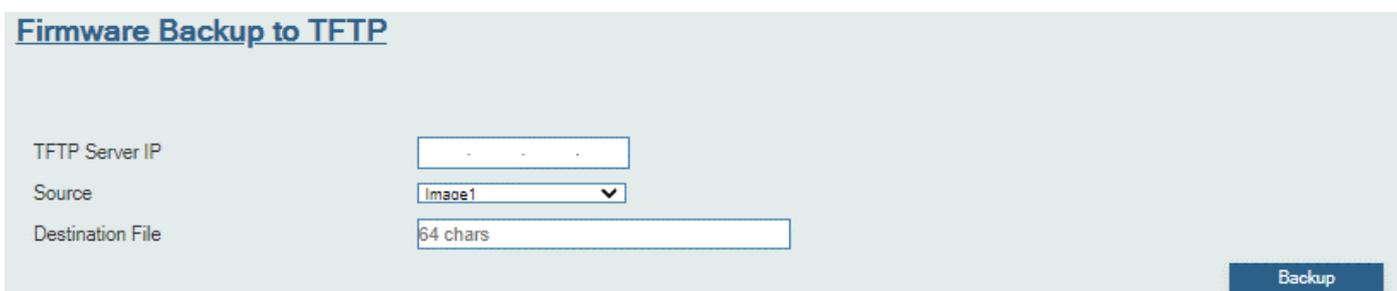
以下の項目を使用して、設定および表示を行います

「TFTP Server IP」 : TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Source」 : ソースを選択します。

「Destination File」 : 宛先のファイル名を入力します。

※ 「Backup」 をクリックするとバックアップが始まります。



The screenshot shows a web interface titled "Firmware Backup to TFTP". It contains three input fields: "TFTP Server IP" (a text box with a dotted pattern), "Source" (a dropdown menu with "Image1" selected), and "Destination File" (a text box with "64 chars" entered). A blue "Backup" button is located at the bottom right.

## 2-12-6 Configuration Restore from HTTP (HTTP を使用した設定読み込み)

「Tool」 → 「Configuration/Restore Backup」 → 「Configuration Restore from HTTP」 の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Source File」 : ファイルを選択します。

- ・ 「Effective immediately (running-config)」 : running-config に読み込む場合に選択します。
- ・ 「Take effect after the next boot (startup-config)」 : startup-config に読み込む場合に選択します。

※ 「Restore」 をクリックすると読み込みが始まります。

## 2-12-7 Configuration Restore from TFTP (TFTP サーバを使用した設定読み込み)

「Tool」 → 「Configuration/Restore Backup」 → 「Configuration Restore from TFTP」 の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「TFTP Server IP」 : TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Source File」 : ファイル名を入力します。

- ・ 「Effective immediately (Running-config)」 : running-config に読み込む場合に選択します。
- ・ 「Take effect after the next boot (startup-config)」 : startup-config に読み込む場合に選択します。

※ 「Restore」 をクリックすると読み込みが始まります。

## 2-12-8 Configuration Backup to HTTP (HTTP を使用した設定のバックアップ)

「Tool」 → 「Configuration/Restore Backup」 → 「Configuration Restore to HTTP」 の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

- ・ 「Include Username Password」 :ユーザー名・パスワードを含む場合に選択します。
- ・ 「Exclude Username password」 :ユーザー名・パスワードを含まない場合に選択します。

※ 「Backup」 をクリックするとバックアップが始まります。



**Configuration Backup to HTTP**

Include Username Password     Exclude Username Password

Backup

## 2-12-9 Configuration Backup to TFTP (TFTP サーバを使用した設定のバックアップ)

「Tool」 → 「Configuration/Restore Backup」 → 「Configuration Restore to TFTP」 の順にクリックします。  
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

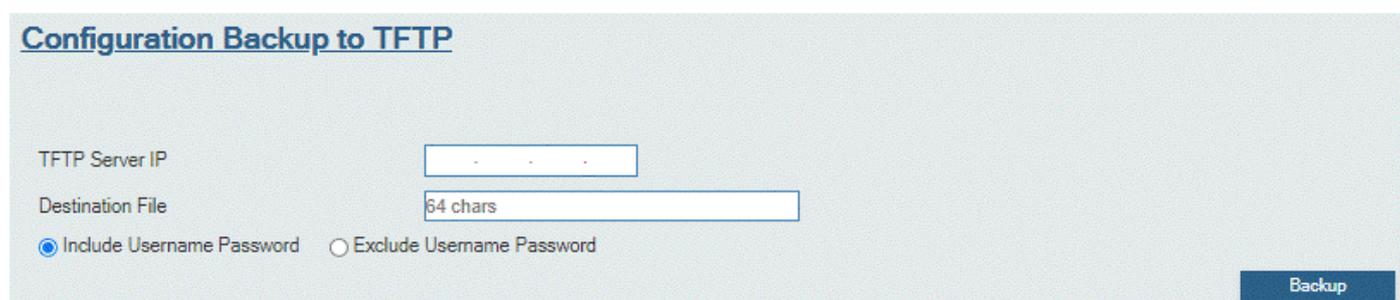
「TFTP Server IP」 :TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Destination File」 :宛先のファイル名を入力します。

「Include Username Password」 :ユーザー名・パスワードを含む場合に選択します。

「Exclude Username password」 :ユーザー名・パスワードを含まない場合に選択します。

※ 「Backup」 をクリックするとバックアップが始まります。



**Configuration Backup to TFTP**

TFTP Server IP

Destination File

Include Username Password     Exclude Username Password

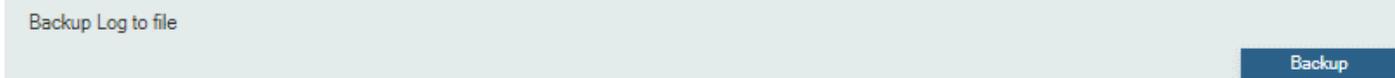
Backup

## 2-12-10 Log Backup to HTTP (HTTP を使用したログのバックアップ)

「Tool」 → 「Log Backup」 → 「Log Backup to HTTP」の順にクリックします。

※ 「Backup」 をクリックするとバックアップが始まります。

### Log Backup to HTTP



## 2-12-11 Log Backup to TFTP (TFTP サーバを使用したログのバックアップ)

「Tool」 → 「Log Backup」 → 「Log Backup to TFTP」の順にクリックします。

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「TFTP Server IP」:TFTPサーバのIPアドレスを入力します。

「Destination File」:宛先のファイル名を入力します。

※ 「Backup」 をクリックするとバックアップが始まります。

### Log Backup to TFTP



## 2-12-12 Ping (Ping テスト)

「Tool」 → 「Ping」の順にクリックします。

Ipv4 Ping

「Target IPv4 Address」:送信対象のIPv4アドレスを入力します。

「Ping Times(1-255)」:送信間隔を入力します。

「Timeout(1-99)」:タイムアウト時間を入力します。

※ 「Start」 をクリックするとPingテストが始まります。



## 2-12-13 Reset (初期化)

「Tool」 → 「Reset」の順にクリックします。

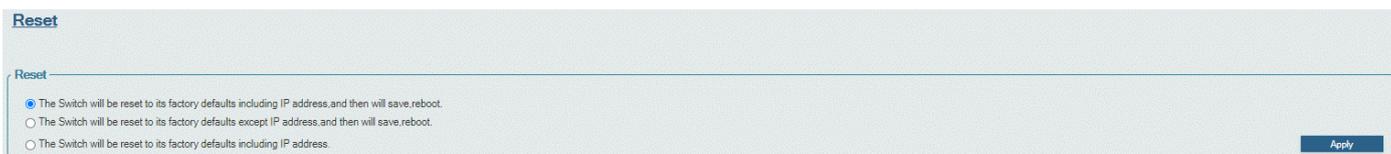
以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「The Switch will be reset to factory default Including IP address, and then will save, reboot」:設定を初期化 (IPアドレス含む) し、saveする場合に選択します。

「The Switch will be reset to factory default except IP address, and then will save, reboot」: 設定を初期化 (IPアドレス含まない) し、saveする場合に選択します。

「The Switch will be reset to factory default including IP address」: 設定を初期化 (IPアドレス含む) する場合に選択します。

※「Apply」をクリックすると初期化が始まります。



## 2-12-14 Reboot System (再起動)

「Tool」 → 「Reboot System」

以下の項目を使用して、設定および表示を行います。

「Do you want to save the setting?」: 「Yes」または「No」を選択します。

※「Reboot」をクリックすると再起動が始まります。



## Save (Save メニュー)

### 2-13-1 Save configuration (設定の保存)

「Save」をクリックします。

#### Save Configuration

※「Apply」をクリックすると設定が保存されます。



## 製品仕様

標準規格	IEEE802.3 / IEEE802.3u / IEEE802.3ab / IEEE802.3x / IEEE802.1D / IEEE802.1w / IEEE802.1s / IEEE802.1p / IEEE802.1Q / IEEE802.3ad / IEEE802.1X / IEEE802.3af / IEEE802.3at / IEEE802.3az / IEEE802.3z	
LANポート	RJ45 × 10 (PoE1~8) (10 / 100 / 1000M)	
SFPポート	SFP × 2 (100 / 1000M)	
通信方式	CSMA / CD、全二重 / 半二重	
機能	スイッチングモード	ストア&フォワード方式
	総スループット	12.0Mbps(64byte)
	スイッチファブリック	24Gbps
	フレームバッファ	512Kbyte
	フラッシュメモリ	Flash: SPI 32MB / RAM: DDR II 128MB
	MACアドレス登録数	8000個(最大)
	ARPテーブル	8000
	ACLエントリ	150
	ポート設定	ポート有効 / 無効、Auto-MDI/MDIX機能、Auto-Negotiation機能、Speed / Duplex / MDI固定、HOLブロッキング防止機能、フロー制御 (half duplex、Full duplex IEEE802.3x standard)
	ループ検知機能	検知自動遮断、自動復旧
	スパニングツリー	IEEE802.1D STP、IEEE802.1w RSTP
	ポートリンク	Static 最大32グループ
	VLAN同時登録最大数	256
	VLAN	IEEE802.1Q VLAN Tagging、Port-based VLAN、VLAN(ID1-4095)、Private VLAN、アップリンクポート複数作成、Isolated、Community、Voice VLAN
	トラフィック優先QoS	CoS / IEEE802.1p、DSCP、プライオリティキューイング8段階、スケジューリング(sp、wrr)、輻輳回避(tail-drop)
	マルチキャスト	IGMP v1 / v2 / v3、IGMP Snooping v1 / v2 / v3
	ジャンボフレームサイズ	9,600bytes(最大)
	マネジメント	Webマネジメント、SNMP(v1 / v2c / v3)、SNMP over IPv6、Syslog(IPv4 / v6)、LLDP、WebからのFWアップデート、FW複数保存
	セキュリティ	MACアドレスフィルタリング、ACL、IPv6 ACL、DHCP Snooping、IPv6 DHCP Snooping、HTTPS
	その他	DHCPクライアント、ポートミラーリング(1:1、1:N)、ストームコントロール(Broadcast / Multicast / Unknown Unicast)
PoE機能	対応機器(PD)	IEEE802.3af(15.4W) / IEEE802.3at(30W)対応受電機器
	給電方式	Type A(1、2、3、6)
	最大給電電力(1ポートあたり)	30W(PoE+)
	最大給電電力(合計)	120W
LED表示	POWER	正常起動(緑)点灯、電源OFF(消灯)
	SYSTEM	ログイン・HTTP接続中(緑)点灯、ファームウェアアップデート中(緑)点滅、通信準備エラー(橙)点灯、システム起動・PoE失敗(橙)点滅
	PoE POWER BUDGET	PoE電力残量: 100%(Full緑)点灯、75%以上100%未満(75%緑)点灯、50%以上75%未満(50%緑)点灯、25%以上50%未満(25%緑)点灯、15.4w以上25%未満(25%橙)点灯、15.4w未満(25%橙)点滅
	PORT LED 左(LINK / ACT)1~10	1000BASE-Xリンク確立時:(緑)点灯、1000BASE-X通信中:(緑)点滅、10 / 100BASE-FXリンク確立時:(橙)点灯、10 / 100BASE-FX通信中:(橙)点滅、接続なし(消灯)
	PORT LED 右(PoE)1~8	PoE出力: 15.4W以下(緑)点灯、15.4W以上30W以下:(橙)点滅、未使用(消灯)
SFP Port LED(LINK / ACT)11~12	1000BASE-Xリンク確立時:(緑)点灯、1000BASE-X通信中:(緑)点滅、100BASE-FXリンク確立時:(橙)点灯、100BASE-FX通信中:(橙)点滅、接続なし(消灯)	
動作温度	0°C~45°C	
動作湿度	20%~80%(結露なきこと)	
保存温度	-20°C~70°C	
保存湿度	10%~90%(結露なきこと)	
外形寸法	210mm(W) × 160mm(D) × 44mm(H)(突起部含まず)	
質量(本体のみ)	1000g	
電源	AC100V~240V 50Hz / 60Hz	
冷却ファン	なし(ファンレス)	
筐体材質	メタル	
消費電力	10W(PoE未使用時)、130W(PoE給電時)	
保証期間	1年	